令和5年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書
(令和4年度事業)

くらしの中に図書館を

本と出あい、人と出あう

「知のひろば」が
地域の文化を創る

令和5年9月
日野市立図書館

目次

1 はじめに	1
2 評価の目的	1
3 図書館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 組織・職員（令和5年4月1日現在）	2
(3) 主な業務	2
4 評価の実施方法	2
5 評価の対象	2
6 評価の結果	4
(1) 図書館協議会の総括的意見	4
(2) 図書館の自己評価	11
7 令和4年度主要な取組(主要事業) ／第3次日野市立図書館基本計画の取組内容	13
統計資料	75
日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱	91
図書館協議会委員名簿	92

1 はじめに

平成20年6月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成21年3月31日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成21年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年1回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書数
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48. 4. 28	豊田 2-49-2	331 千冊
移動図書館	1 台 (21 駐車場)	昭和 40. 9. 21	同上	35 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55. 5. 11	三沢 4-1-12	104 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55. 5. 18	日野本町 7-5-14	59 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16. 4. 1	多摩平 2-9 多摩平の森 ふれあい館 1 階	127 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20. 4. 5	平山 5-18-2 平山季重 ふれあい館 1 階	68 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52. 12. 1	神明 1-12-1 日野市役 所 1 階	51 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2. 11. 16	百草 204-1 ガーデン ビュー石神 D2 階	73 千冊

(2) 組織・職員（令和5年4月1日現在）

3係（庶務・業務・奉仕）、6分館

- 正規職員 30人（うち司書 24人）
- 再任用職員 8人（うち司書 3人）
- 会計年度任用職員（年 1500 時間換算） 40.4人

(3) 主な業務

- 図書館資料の収集、整理及び保存
- 個人貸出、団体貸出
- 読書案内及び読書相談
- レファレンス
- 図書館資料の図書館間相互貸借
- 市内の学校への資料提供と支援
- 地域・行政資料の収集・提供・保存
- 読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- 館報その他の読書資料の発行及び頒布

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、定例協議会において主要事業の概要説明をしました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

令和4年度主要な取組（主要事業）の6事業、及び「第3次日野市立図書館基本計画」の基本方針の下の取組を評価対象としました。

○ 令和4年度主要な取組（主要事業）

1. 第4次図書館基本計画策定
2. 第3次図書館基本計画推進事業
3. 第4次子ども読書活動推進計画推進事業
4. 障害者サービス事業
5. 地域・行政資料のデジタル化事業
6. 図書館におけるランサムウェア感染事故対応

○ 第3次図書館基本計画に基づく令和4年度重点的取組内容

1. 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします
 - 地域・行政資料の収集・提供・保存
 - 市民に役立つ情報の提供
 - 市民の図書館活動・運営への参加
 - 地域で活動する団体との連携
 - 関係機関との連携
2. 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります
 - くつろげる「居場所」としての環境の充実
 - 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み
 - 移動図書館ひまわり号の活用
3. 市民の読書活動を推進します
 - 本と出あうきっかけづくりの拡充
 - 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み
4. 全ての市民に図書館サービスを提供します
 - 図書館サービスのていねいな説明
 - 利用につながる図書館情報の発信
 - 移動図書館ひまわり号によるサービスの充実
 - 多様な利用者へのサービスの拡充
5. 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します
 - 資料・情報の収集
 - 資料・情報の保存
 - 資料・情報の提供体制の充実
 - 読書案内・レファレンスサービスの充実
6. サービスを提供する基盤を整備します
 - 施設の保持・保全
 - ICT化の推進
 - 職員の育成
 - 市民とともにすすめる図書館運営の推進

6 評価の結果

(1) 図書館協議会の総括的意見

○ 令和4年度主要な取組（主要事業）

1. 第4次図書館基本計画策定

第4次図書館基本計画の策定にあたっては、策定委員の半数に公募の市民を入れるなど、「市民の図書館」としての意気込みを感じ、市民のための図書館運営という観点からも評価できる。また、計画策定の基礎資料とするために実施したアンケート調査では、未利用者の意見を多く集めたことを評価する。未利用者のアンケート回答増や策定委員の公募に18人の市民の応募があったことは、図書館への市民の関心の高さを表していると言える。

事務局として中心になった職員の努力を評価する一方で、市民のニーズをこれからの図書館活動に活かし、今後、この計画を基に日野市立図書館がどの様に歩んでゆくのか、職員の意識のありように期待したい。

なお、第6回策定委員会より委員長判断で傍聴希望を認めた点も評価できる。市民に開かれた図書館だからこそ、議事録や配布資料の公開とともに傍聴も推進して欲しい。

2. 第3次図書館基本計画推進事業

第3次図書館基本計画の最終年度にあたり、コロナ禍で様々な活動が困難な中、安全を最優先に、いかに事業を推進していくのか、工夫し努力されたことが推察される。その中で、各地域館がそれぞれの地域の特性と課題を積極的に受け止め、活動や取り組みを行ったことは評価できる。また、各地域館が、他部署や関係機関と連携することで、「本を通じて人がつながる取り組みや地域の特性を考慮した取り組み」が達成されていて、どれもおもしろいと感じた。

図書館法第3条でも、図書館は「土地の事情、および一般公衆の希望に添い」とそのサービスやあり方において地域を重視するべきことを指摘しており、その点では方向性は正しい。今後、コロナによる制限が段階的に解除される中でより強く推進し、市民に寄り添った図書館として活動することに期待したい。

3. 第4次子ども読書活動推進計画推進事業

(1) 第4次子ども読書活動推進計画推進事業

事業を自然体で進めるためにも関係各課の進捗状況把握は大切と思う。引き続き状況を把握しながら事業を進めてもらいたい。

コロナ禍で、それ以前と同様の活動ができず、大きく制限されてしまったことは残念だが、出来る範囲での積極的な取組を評価したい。特にこの数年のコロナ禍による様々な自粛や制約は子どもたちの読書環境にも影響を与えている。読書のきっかけ作り

となる、おはなしを聴く経験、本を自分で選ぶ楽しさなど、可能な限りではあるが工夫しながら推進したことは前年度に引き続き評価できる。

今後、関係各課・団体でも新たな工夫をされていくと考えられる。読書活動を推進するイベントなど、基本方針に沿った具体的な取り組みを期待したい。

(2) 乳幼児へのサービス

おはなし会の実施、絵本パックの貸出事業のさらなる伸展など評価できる。

初めての取り組みである「絵本の福袋」の貸出は、好評でとてもよい企画だと感じるが、福袋に入れた資料は閲覧できなくなるなどの課題もある。絵本パックを含め、この事業は引き続き推進してもらいたいが、進めるにあたっては、複本の用意や開催する時期の工夫も必要であろう。子どもたちに本のおもしろさを広くアピールするためにも、思い切って「福袋」のために予算を割くことは難しいのだろうか。

(3) 小中学生へのサービス

コロナ禍で、昨年度よりも積極的な活動が見られ、小中学生の読書環境がもどりつつあることが確認できた。再開への職員の苦勞を評価したい。

「夏休みジュニアスタッフ」、「たかはたブッククラブ」の活動は、小中学生の読書活動に資するとともに図書館理解にも大いに役立つ取り組みであり、今後とも重点的に推進して欲しい。

「たかはたブッククラブ」については、おはなし会から一歩進んだ事業として評価できる。一方で、他自治体でもアニメーション事業（子どもの読書力を伸ばし、読書好きにする取り組み）を積極的に取り組んでいる事例がある。職員の専門性や、準備等の時間的なコストは必要になるが、これらを参考にすることで事業をより発展させることができると考える。

「中学生と作家の交流事業」も継続して開催され、参加する中学生の主体性を大切しながら推進されている。中学生が企画から主体的に関与するなど読書を超えた体験を実現している点も評価できる。公立図書館の先進事例として紹介されるべき活動であり、今後とも中学生の主体性を大切にした事業の継続を希望する。

ただ、難しいと感じるのは、これらの活動は、結局「本に興味のある子ども」がメインになって、「本に興味のない」子どもたちは、「本の面白さを知る以前に、こういう企画の存在も知らない」になってしまうのではないかという点である。

「本に興味のない」子どもへのアプローチ方法として読書調査を活用することもできるのではないだろうか。「好きな本のアンケート」も大切だが、子どもが「今、何に興味を持っているか」「何が流行っているか」「学校の話は」といった面を知ること、今後、子どもたちに図書館を利用してもらうアイデアにつながるのではないだろうか。たとえば、自己体験として「人気アニメの主人公がこんな本を読んでいた→この本は本当にあるのだろうか→図書館で聞いてみよう」という流れもあるかと思う。

外国にルーツを持つ子どもたちが日野市でも増えている。親が子どもに母国語で読ん

であげられるように、今後も資料の収集・提供など図書館の環境を整えていくこと、そして、図書館が外国語の絵本を所蔵していることを当事者に知ってもらえるような努力を期待する。

小中学生の図書館に関わる活動について、その成果を発信して多くの小中学生や市民に関心をもってもらうことも大切である。ウェブサイトのお知らせのページだけではなく、継続した取り組みとして独立したウェブページを設けて、記録としても発信するとわかりやすくなるのではないだろうか。

(4) 青少年へのサービス

ヤングスタッフの活動が着実に進展している点を大いに評価したい。昨年度は「ビブリオバトル」の実施などスタッフの活動がより盛んになった様子が確認された。各館での活動のほか、新たなメンバーの加入など活動の継続性につながる動きも大切である。

なお、定例ミーティングはオンラインと対面を併用したようであるが、昨年より着実に回数が増えている。参加メンバーに併せて確実にコミュニケーションをとれる方法を選択しているようであり、メンバーのモチベーションや活動を維持する点でも、適切な方法を選択しながら事業のさらなる活動の広がりを期待したい。

一方で、この世代へのサービスがヤングスタッフ頼りになっている印象を受ける。本事業の対象者（青少年）の多様な価値観や人生観にアプローチできる事業を推進して欲しい。ヤングスタッフの活動ではカバーできない価値観の対象者も多いのではないかと思う。

(5) 学校支援

学校支援は、学校の教育活動に対する支援と学校図書館に対する支援があると考えている。

「本の森学級文庫」の配本は、少しずつであるが、配本総数が確実に増えており、継続的な伸展が見られ評価できる。学校図書館への支援拡大ができたことはよかった。

学校搬送便の事業も、前年度の資料数総数や回数では僅かながらも増加していることは評価できる。しかし、中学校の利用が2校にとどまっているのは残念に思う。さらなる事業の伸展を図るためにも学校現場からの要求を大切に受け止めながら、図書館と教育指導課や学校とのコミュニケーションをより図っていくことが大切である。

学校司書や司書教諭に対しては、図書館司書の持つ専門性をもって支援することが大切である。「情報セキュリティ」「選書・本の勧め方など」の研修を行ったことは評価できるが、学校図書館における通常業務の中での支援なども視野に入れた体制があれば、よいのではないか。

4. 障害者サービス事業

障害者サービスは、公立図書館が全ての市民の知る権利に応えるために、不可欠なサービスである。昨年度より積極的な活動が見られ、音訳者講習会の参加者が増えたことや、利用者への個別パソコン操作講習を実施していることは大変評価できる。利用サービス案内の配布によって、サービス利用につながった事例もあり、このサービスを必要とする市民への周知を継続して進めて欲しい。

ZOOMによるオンライン対面朗読は、通信環境の問題もあるが、感染症や移動のことを考えると、良いサービスであると評価できる。

資料宅配サービスでは、利用者が「職員と対面することで気分が張りが出たりする等の効果」とあるように、宅配事業の意義を感じる。対面朗読においても、単に朗読してもらう以上に「人と会う」ことの大切さを感じる。労力はかかると思うが、対面で行う価値を引き続き大切にしたい。

また、マルチメディアDAISY図書の取り組みがもっと認知されることを望む。

5. 地域・行政資料のデジタル化事業

地域・行政資料は、各地域の図書館が収集すべき資料であり、デジタル化によって、その閲覧利用の可能性の広がりが期待できる。その点で「歴史的公文書のデジタル化事業」が開始された点が評価できる。さらに5か年計画で実施できることを大いに評価する。今後とも事業の推進・継続を希望したい。

今後は、デジタル化した資料に個人情報が含まれないか等をチェックした上で公開、音声へのテキスト化等の様々なことを進めなければならないが、体制の充実をはかりながら、進めていくことを期待したい。

なお、行政資料の中にはデジタル媒体のみの資料も存在するので、デジタル化と同時に、紙媒体での資料の確保などその保存方法（バックアップ）の検討も今後の課題である。

6. 図書館におけるランサムウェア感染事故対応

ランサムウェア感染が判明した後、迅速で的確な対応ができていたことを評価したい。

図書館の貸出管理システムに影響がなく、利用者のプライバシー情報の漏洩がなかったことは不幸中の幸いであるが、おはなし会の参加者数や障害者サービスの利用状況などの統計数値や業務上の事務文書のデータが暗号化され、使用できなくなったことは残念である。今回の事故対応を通じて、より強力なシステムとなることを期待したい。今後も同様の被害に遭うことがないように、セキュリティ管理・対策を推進するとともに、データのバックアップなども定期的に行うなどの対策も必要ではないだろうか。

○ 第3次図書館基本計画に基づく令和4年度重点的取組内容

1. 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします

各地域館それぞれ特徴ある活動の進展を評価したい。それぞれの図書館が地域の事情に応じて、情報を収集し、地域の市民活動と連携するなど積極的な活動をしており、図書館が地域文化を創る拠点としての役割を果たしていると言える。市民にとって最も身近な情報の窓口であればこそ、各図書館の各地域の特徴を活かした図書館サービスを展開することを期待したい。

一方で、市民の図書館運営への参加が乏しいと思う。利用者懇談会の開催やボランティア参加などできることがあるのではないかと。市民を受け入れることは、それ自体の価値以上に現場職員と市民の交流を増やす機会創出の意味もあるので検討の余地があると思う。

また、「市民に役立つ情報の提供」とあるものの、現役世代や普段図書館を利用しない層へのアプローチが少ない印象を受ける。その中で PlanT との協働は、起業を目指す人、企業で働く人など現役世代へのアプローチであり、評価できる。

2. 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります

コミュニティの場としての取り組みは、安心していただけるための設備や環境を整えることと、利用者が参加できる活動であることが揃っていて評価できる。今後はさらに一歩進み、利用者が参画する機会が増えていくことが望まれる。

「はじまりの読書会」では、この事業をきっかけに新たな読書会サークルができたことは評価できる。このことは、読書会のきっかけ作りに図書館が一定の役割を果たしていることであり、市民のニーズもあることがわかる。このような取り組みが広がることを希望する。

多摩平図書館の「おしえて！おすすめの本」の展示は、双方向の楽しみとなる良い企画だと思う。

一方で、図書館が気軽に立ち寄ることができる場となるには、「図書の貸出をしているだけではない」ことを、広く告知する必要があるのではと感じる。参加型企画(イラスト募集など)を行い、作品を図書館に展示することで、図書館に足を運んでもらうのはいかがだろうか。

3. 市民の読書活動を推進します

図書館の役割には、利用者が未知の本と出会うきっかけづくりもある。各館が様々な工夫をして、展示・ポスターの掲示等を行い、本との出会いのきっかけづくりを行ったことを大いに評価する。

テーマ展示に関しては、昨年に比べてタイトルのつけかたに工夫が見られ、充実度が向上したと感じるので評価できる。

一方で、ポップ作成を依頼して作ってもらった人は、小中学生や教員が多い。この事業は全世代が対象のはずなので、もっと幅広い世代の紹介者やアプローチを模索して欲しい。

また、本の紹介から、本を中心にした利用者同士が交流するきっかけにもなることが期待できる。本の紹介に留まらず、そこから市民がどのような読書活動に発展しているのかを分析することで、よりよい市民の読書活動を支援できるのではないかと考える。

たくさんのイベントを開催されているのは十分評価できるが、図書館側・運営側からの発信力が弱いことは否めないと思う。

4. すべての市民に図書館サービスを提供します

すべての市民に図書館サービスを提供することは、公立図書館の目的でもあり重要な事業である。そこで、より多くの市民に図書館サービスの存在を伝えること、いつでも必要な時に利用できる社会のインフラとして整備されることが望まれる。その点で、様々な方法を用いた広報や周知活動は評価できるが、それによって、どのくらい利用が促進されたか、その点を測る方法を考えて欲しい。貸出数や利用登録者数をもって評価する方法もあるかもしれないが、図書館からの広報が市民にどの様に受け止められ活用されたかなども大切な視点である。

また移動図書館ひまわり号でのノートパソコンをインターネットにつないでの資料検索などは、意欲的な取り組みであり評価したい。今年度は長時間駐車するサービスポイントのみの実施であったが、これが市内各所で実施できるようになると、図書館の各種サービス機能を市内全域で利用できる可能性にもつながる。今後とも継続運用を期待したい。

加えて、第4次日野市立図書館基本計画策定にあたるアンケート調査において、未利用者の回答数が向上した点が評価できる。

5. 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

各種情報資源を収集することで市民の多様な情報ニーズに応えようとする姿勢は評価できる。資料の収集・保存・提供といった基本的な活動によって図書館は市民の要求と信頼に応えることができる。今後とも継続してほしい。

なお、オンラインデータベースは種類により前年比の利用の増減差があるが、レファレンスサービスなど調査用の情報源が多く、利用数値のみでは一概に評価はできないと考える。むしろ、その情報源が市民の情報ニーズにどのくらい役立つか、情報の新しさ(更新性)や紙媒体への置き換えができないなどの点が重要である。特に有料データベースは個人ではなかなか契約できないからこそ、図書館が契約して提供する意味があるといえる。レファレンスサービスの情報源としても整備を継続してほしい。

電子書籍の貸出についてのアンケート結果が興味深かった。電子書籍は未利用者の要望が高いことを考えると、導入には検討の余地がある。前向きに検討してもらえよう望む。

6. サービスを提供する基盤を整備します

施設の保持・保全など適切に実施できていると評価する。

職員の育成は、館内研修や館外研修への積極的な職員派遣を行っており評価できる。これによって、司書の専門性を高めるとともに、質の高い図書館サービスの実現につながる。

市民の視点を加えた図書館運営は、公立図書館の民主的運営の観点からも大切な取り組みである。図書館協議会による事業評価はその一つであるが、様々な方法でより多くの市民からの意見を聴取し、図書館運営の自己点検を継続して欲しい。

日野市立図書館が積み重ねてきた図書館サービスのあり方は、全国的にも注目されるどころであり、公立図書館運営の参考となるところでもある。市民とともに歩み、市民の身近で信頼される「市民の図書館」として存続して欲しい。

○ まとめとして

ランサムウェア感染により、事務用文書が復号できず、これまでの統計データの一部が不明になってしまったことは、大変残念なことである。図書館貸出管理システムへの影響がなかったことは不幸中の幸いだった。事故対応については、確実に適切な対応がされたようだが、今後の対策については十分にしてもらいたい。

図書館事業全体については、事業計画に沿って着実に事業を行っていて、評価できる。評価のための協議会の会議の中で「図書館は、ほんとうにやるべきことをまじめにすべてやっている。やりすぎで無理してないか心配になるくらい」という声も出ていた。一方で、発信力不足が否めない。せっかく職員の努力でさまざまな取り組みが実施されているので、これらを新たな方法を含め、どう発信していくかを再度検討していただきたい。特に若者の情報源はWeb、SNSであり、これらの活用が望ましいと考える。情報発信により、新たな利用者の増に期待する。

資料費を減らすことなく、維持していることは大いに評価できる。必要な資料を確実に収集することは、将来にわたって市民の知る権利に応える公立図書館にとっては基本である。より多様な市民のニーズに応えるため充実した資料、情報の収集・保存・提供を行うことは大切である。

第4次図書館基本計画の策定にあたっては、アンケートでは多くの方から回答が寄せられ、未利用者の声も多く集めることができた。また、策定委員の半数に公募の市民を入れ、市民の声を大切に作る姿勢が感じられ、評価できる。

また、図書館サービスは、専門職である司書によって支えられなければならない。各館が地域に根ざした蔵書構成やサービスを展開できるのも、レファレンスサービスで市民の調査研究に応えることができるのも、そして、日常的なカウンターでの何気ないサービスも、経験豊富な専門職としての司書によって支えられている。またそれは利用者に対してしっかりと向き合う職員の姿勢があるからこそ市民のニーズを受け止めながら進展することができたのである。昭和40年以来、市民に信頼され、市民に寄り添い、市民と共に歩んできた日野市立図書館の運営体制を、高く評価するとともに今後とも堅持し続けて欲しい。

令和5年度は、中央図書館開館50周年をむかえることになる。市民へのアピールを行っていただきたい。

「ユネスコ公共図書館宣言2022」が発表され、日本語訳も公表された。この「宣言」を「本の森」の道標とし、「活字の海」の滞となるように職員が学び、サービスの展開の役に立てることを希望する。

(2) 図書館の自己評価

第3次日野市立図書館基本計画と第4次日野市立図書館子ども読書活動推進計画に基づいて、令和4年度事業を進めてきた。

それぞれの地域館が地域の文化を創る拠点となることを目指し、地域の特性を活かした取り組みを充実させることを重点施策とした第3次日野市立図書館基本計画も最終年度となり、地域を意識した取り組みも定着してきたと言える。

令和4年度も、他部署や関係機関と連携した取り組みを地域館で実施してきた。郷土資料館と連携してのパネル・図書展示（高幡図書館）、日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」との連携（多摩平図書館）、複合施設のイベントへの協力（多摩平図書館・平山図書館）、「デリバリーカー」出店への協力（移動図書館ひまわり号）などである。

障害者サービスでは、オンラインによる対面朗読を積極的に実施し、利用者も1名増となった。また、絵本の点字図書・録音図書の制作を行った。

地域・行政資料のデジタル化事業では、歴史的公文書のデジタル化に着手できた。

本と人、人と人、人と地域をつなぐことを目的に、第3次計画を推進してきたが、課題も残った。とりわけ新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、緊急事態宣言の発令を受けた図書館の臨時休館や、対面でのコミュニケーションが制限されたことにより、計画半ばより十分な取り組みを進めることができなかった。新しい社会の流れに対応しつつ、地域や市民との対話や交流を続ける取り組みを継続して推進することが課題として残された。

また、地域に根ざした図書館をめざすためには、市民に情報が届き、かつ足を運んでみたくなる広報・PRも重要であり、課題となっている。

第4次子ども読書活動推進計画の推進では、新たな取り組みとして、「絵本の福袋」の貸出を中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草の各館で行い、全てが貸出され、好評であった。また、日野ヤングスタッフによるビブリオバトルを開催し、幅広い年齢の方の参加があった。「たかはたブッククラブ」や中学生と作家の交流事業などの事業も継続できた。

第3次計画が令和4年度で終了することを受け、これまでの成果と課題を総括すること、市民の意見を図書館活動に活かし、今後の図書館のあり方および取り組むべき内容と時期を具体的に示すことを目的に第4次図書館基本計画を策定した。

策定の基礎資料とするために実施したアンケート調査では、図書館の利用者だけでなく未利用者の意見を多く集めることができた。

公募による市民委員5名、学識経験者2名のほか、生涯学習および学校教育に関わる行政職員3名を加えた10名で構成する策定委員会を設置し、6回の策定委員会を開催した。アンケート調査、市民ワークショップなどから把握した、図書館に対するニーズ・意見・提案を策定委員会にて共有し、活発な議論が交わされた。

素案作成後はパブリックコメントを行い、4名の方から12件のご意見をいただいて、計画策定の参考にすることができた。

策定した計画は、基本理念を「くらしの中に図書館を ～地域に根ざした『知のひろば』が本と人との『わ』をつくる～」とし、6つの基本方針と「わ」をコンセプトにした「～つなぐ

『わ』プロジェクト～」を重点プロジェクトとして位置付けた。「知のひろば」(＝図書館)が土台となって、本と人と地域をつないで大きな「わ」をつくることをめざす思いをこめ、計画期間5年間(令和5～9年度)に取り組むことを具体的に示し、計画の方向性を示すことができた。

令和4年12月17日未明に発生した、図書館システムのランサムウェア感染事故では、令和5年1月19日に復旧が完了するまでの間、窓口業務は継続できたものの一部サービスの休止を余儀なくされ、一部統計が不明となる影響があった。図書館貸出管理システムには影響がなく、情報漏洩が起こらなかったことは不幸中の幸いであった。

この事故で、保守内容についての問題が浮き彫りとなり、次期システムではより強固なセキュリティ環境の導入が課題となった。

各事業における図書館の自己評価は、次ページ以降の評価表のとおりである。

7 令和4年度主要な取組(主要事業)／第3次日野市立図書館基本計画の取組内容

○ 取組内容目次

令和4年度主要な取組（主要事業）	14
1 第4次日野市立図書館基本計画策定	14
2 第3次図書館基本計画推進事業	16
3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業	25
（1）第4次子ども読書活動推進計画推進事業	25
（2）乳幼児へのサービス	27
（3）小中学生へのサービス	29
（4）青少年へのサービス	32
（5）学校支援	35
4 障害者サービス事業	37
5 地域・行政資料のデジタル事業	40
6 図書館におけるランサムウェア感染事故対応	41
第3次日野市立図書館基本計画の取組	43
1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします	43
2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります	52
3 市民の読書活動を推進します	55
4 すべての市民に図書館サービスを提供します	63
5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します	68
6 サービスを提供する基盤を整備します	72

令和4年度主要な取組（主要事業）

事業項目	1 第4次日野市立図書館基本計画策定
事業の概要	<p>「第3次日野市立図書館基本計画」の計画期間（平成30年（2018年）4月～令和5年（2023年）3月）の終了に伴い、今後の図書館の役割を整理し直し、以下のことを明確に示すことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ これまでの図書館事業を振り返り、総括すること ■ 市民の意見を図書館活動に活かすこと ■ 現在の図書館の課題を明らかにし、今後の図書館のあり方を示すこと ■ 取り組むべき内容と時期を具体的に示すこと
事業の成果	<p>【経過】</p> <p>令和4年4月1日（金）～4月20日（水） 策定委員市民委員の公募（18人の応募、5人を選考）</p> <p>令和4年4月1日（金）～5月8日（日） 各図書館窓口及びインターネット上において日野市立図書館アンケートを実施（回収数合計1,434票）</p> <p>令和4年6月20日（月） 公募市民5人を含む策定委員会を設置</p> <p>策定委員会は全6回開催（6月20日、9月26日、10月24日、11月21日、2月6日、2月20日いずれも月曜）</p> <p>令和4年7月23日（土） 17時30分～20時</p> <p>市民ワークショップ「夜の図書館特別ワークショップ&バックヤードツアー」を開催（参加者17人 うち小学生4人、中学生1人）</p> <p>令和4年9月12日（月） 職員ワークショップを開催（参加者23人）</p> <p>令和4年12月20日（火）～令和5年1月20日（金） 素案へのパブリックコメントの募集（4人から12件のご意見）</p> <p>令和5年3月28日（火） 教育委員会定例会で承認、第4次日野市立図書館基本計画を策定</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画策定の基礎資料とするために実施したアンケート調査（令和4年4月1日～5月8日実施）では、図書館の利用者だけでなく未利用者の意見を多く集めることができた。（前回は3人、今回は107人）同様に実施した市民ワークショップ（令和4年7月23日実施）での意見・提案などもあわせて、市民のニーズを把握し、計画に具体的に反映させることができた。 ○ 策定委員（市民委員）には、第1回と第2回の委員会の間に、移動図書館「ひまわり号」の視察（令和4年7月13日（水）、7月27日（水））と、地域館の視察（令和4年7月21日（木））を行った。そのため、図書館の状況・実情や課題、雰囲気を理解したうえで策定委員会に臨んでいただくことができ、活発な議論が交わされた。 ○ 第4次計画では「くらしの中に図書館を ～地域に根ざした『知のひろば』が 本と人との『わ』をつくる～」を基本理念として掲げた。これは、「知のひろば」（＝図書館）が土台となって、本

と人と地域をつないで大きな「わ」としていくことをめざす思いがこめられている。この基本理念のもと、6つの基本方針と「わ」をコンセプトにした「～つなぐ「わ」プロジェクト～」を基本計画の重点プロジェクトとして位置づけ、重点的に取り組む項目を具体的に示し、計画の方向性を示すことができた。

- 計画本文は図書館ホームページで公開した。

事業の課題と改善策

【課題】

- 職員に共通認識・目標を持たせ、今後、この計画を基に日野市立図書館がどの様に歩いてゆくかをひとり一人の職員が考える体制を作る。
- 市民に、計画の内容も含めて図書館の活動をもっと知ってもらう。
- 計画に基づいて、市民が図書館を利用しやすい環境を整えていく。

【改善策】

- 職員が取り組む具体的な内容を検討・精査し、着実に実施していく。
- 計画の内容と実施したことを、年度ごとに広く市民に公表していく。

事業項目	2	第3次図書館基本計画推進事業
事業の概要		
<p>「第3次日野市立図書館基本計画」（平成30年度～令和4年度）に基づき、市民が求める資料・情報の提供を推進し、本を通じて人がつながる取り組みや地域の特性を考慮した取り組みを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各地域館が地域の特性と課題を踏まえた取り組みを実施 ■ 移動図書館のより効果的な巡回場所・巡回方法を検討 ■ 地域資料・行政資料を収集・提供・保存するための、より網羅的で効率的な手法の構築 		
事業の成果		
<p>各地域館で以下の取り組みを行った。</p> <p>【高幡図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 他部署との連携した図書の展示 <ul style="list-style-type: none"> ○ 6月 在宅療養支援課との連携展示を行い「マイエンディングノート」の配布と共に図書の展示「年を重ね、より美しく」を実施 ○ 8月 平和と人権課との連携展示「平和って何だろう？」 ○ 9月 高齢福祉課との連携「認知症を知る月間」 ○ 10月 環境保全課との連携「SDGs（持続可能な開発目標）とは？」 ○ 2月 環境展示「今からとこれから」 ○ 3月 セーフティーネットコールセンターとの連携 自殺対策月間「一人で悩まないで」など、さまざまなテーマで他部署と連携した図書の展示を実施した。 ○ 12月 郷土資料館と連携し、2階でのパネル展示「高幡の記憶」と1階での関連図書展示「玉南鉄道（現：京王線）と高幡門前町」を実施し、地域の紹介を行った。特にこの展示では、生まれ育った地域の歴史を振り返る展示内容に心を動かされる高齢者も見られ、また「鉄道」という内容から子どもの関心も高く、展示図書135冊のうち82%が貸し出され好評だった。 ■ 子どもからの発信を活かした展示 <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みジュニアスタッフ2名におすすめ本のポップを書いてもらい、本と一緒に児童室で展示を行った。手にとり、借りていく子どもが多かった。 ○ 夢が丘小学校の6年生が、高幡図書館の見学をし、それをもとに作成した「おすすめ本の紹介カード」3セットを児童室に展示した。また、手作りの葉も児童室で配布した。 ○ 七生緑小学校の6年生が、高幡図書館の見学をし、それをもとに作成した高幡図書館の紹介ポスターを児童室に掲示した。 ■ ヤングスタッフ事業 <p>詳細は「主要事業3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業（4）青少年へのサービス」を参照。</p> 		

■ たかはたブッククラブ

令和4年度は連続した3か月を1期として全3期を実施し、(第1期5～7月、第2期9～11月、第3期1～3月) 延べ35名の参加があった。

詳細は「主要事業3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(3) 小中学生へのサービス」を参照。

【日野図書館】

■ 日野宿発見隊の取り組み

まちのアンテナとして活動する日野宿発見隊を支援し、まちの魅力を発信している。令和4年度は日野宿発見隊とともに、以下の活動に取り組んだ。

- 「スタンプラリー in 日野宿2022」を5月7日(土)、例年通りのスタイルで3年ぶりに開催した。日野煉瓦橋、日野銀行跡など日野宿の見どころに設置した直径約10cmの手彫りの特製大型スタンプを押しながら日野宿を巡り、その魅力を発見してもらうもの。市内外からおおよそ1,000名の参加者(スタンプ帳頒布数475冊)に日野宿散策を楽しんでもらった。また、ボランティアとして、地域の方をはじめ、日野第一中、大坂上中、日野高校の生徒有志やひの児童館で活動する大学生など約100名の協力を得た。新ポイント「桑園」のスタンプデザインは、日野第一中の美術部の生徒が作成した。
- 「夏休み! 親子で調べよう日野用水」を7月23日(土)に実施。新東光寺地区センター前の用水で生き物を捕り、観察する企画。9組21名の子どもと保護者が参加した。
- 令和3年に続き、令和4年の八坂神社の例大祭が中止となったが、地域の方に少しでも祭気分を味わってもらいたいと、八坂神社の協力を得て、「八坂の祭り写真展」を9月に実施した。合計71点の写真パネルを玉垣等に展示した。
- 令和3年に続き、今回で2回目となる「行灯をつくろう」を12月17日(土)に実施。7組14名の子どもと保護者が参加。親子でひとつの行灯作りに取り組んだ。近所の普門寺の協力を得て、作成した行灯を境内などで灯し、地域の方々と、より雰囲気を楽しむことができた。

■ 他部署と連携した地域づくり

中央公民館やひの児童館など地域の施設の職員が集う「ご近所会議」で月1回情報交換を行ってきた。地域の施設間で協力体制が築かれ、継続して以下の連携事業に円滑に取り組むことができた。

- 日野図書館おすすめ本コーナーをひの児童館に設置し、月替わりで約20冊の児童書を置いてもらった。たいへん好評だった。
- リサイクル雑誌を、ひの児童館で再活用してもらった。
- ひの児童館のイベント「ひのっこあつまれ! まつり」(6月5日(日)開催)にスタッフとして参加した。リサイクル図書の頒布を担当し、地域の方と交流できた。
- ひなまつりの時季には、中央公民館の事業に協力し、つるし雛を日野図書館館内に飾った。

■ 親子へのサービス

「よんでみませんか」コーナーを作り、ノンフィクションの児童書を表紙が見えるように配架した。年間約50冊を展示した。子どもと保護者で、お話ししながら本を手にする様子が見られた。

■ 本の福袋

1月に、おすすめの本3冊を中身がわからないように袋に入れ、「本の福袋」(対象：大人)と題して20袋用意した(今年度で3回目)。「(年に一度ではなく)もっとやってほしい」、「面白かった」などの感想のほか、「試験が終わったら、借りる」などと試験勉強の励みにしてくれた高校生もいた。

【多摩平図書館】

■ 乳幼児やその保護者の居場所になる図書館

「乳幼児やその保護者の居場所になる図書館」を目指し、子育て支援関係の資料や乳幼児向けの絵本などの蔵書の充実に努め、たくさんの資料を提供することができた。

■ 子育て関連の公共施設等との連携

○ 「子育て関連の公共施設等との連携」については、施設内の「子ども家庭支援センター多摩平」や「たまだいら児童館」からの依頼を受けて、絵本に関する講座に職員を講師として派遣した。また、「ファミリー・サポート・センター」からの依頼を受けて、会員交流会と養成講座に職員を講座の講師として派遣した。これらにより、引き続き、施設内の他部署との連携を深めることができた。また、図書館の人材を提供することで図書館職員の力量や経験値を上げることもできた。

○ 1月28日(土)に開催された「多摩平の森ふれあい館まつり」に参加し、「リサイクル資料の頒布」を行った。これにより、大勢の市民にリサイクル資料を有効に利用してもらうことができた。(配布数：雑誌が909冊、児童書が665冊、計1,574冊)

○ 日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」との連携については、5年間でようやく形になった。毎月、30冊ほどのビジネス関連書を貸し出し、P l a n Tの利用者に自由に利用してもらっているほか、隔月で新着ビジネス関連書の案内を作成し、配布を依頼している。また、P l a n Tで実施した「ビジネスコンテスト」のPRも兼ねて、8月に関連図書の展示も実施した。図書館が貸出した本がP l a n Tの利用者に有効に利用されているという報告もあり、また、月1回訪問することで情報交換できるなど、よりよい連携ができてきた。

■ 病院に通院する人向けのコーナー設置

「医療情報コーナー」については、書架の一番下の棚の本について、使いづらいという意見があったので、ビデオテープの所蔵を減らし、医療情報についての棚を増やすことで、一番下の棚を使わないで資料を配架できるようになった。

■ 幅広い年齢層に対応できる図書館

多摩平団地コーナーについては、令和3年度末までに約40冊の資料を収集した。令和4年度は、さらにそれぞれの資料にいつの年代の多摩平団地が掲載されているかがわかるメモを貼付して、表紙がみえるように棚に並べた。このことにより、利用者にも認知されるようになり、貸出も少しずつ増えてきた。

【平山図書館】

■ 闘病記コーナー

令和4年度は新刊を中心に18冊を収集した。内訳は「がん」6冊、「脳の病気・認知症・介護」4冊、「こころの病気」5冊、「子どもの病気、先天性の病気」2冊、「その他の病気」1冊。

また、ヤングケアラー関連資料の情報収集に着手した。所蔵図書・雑誌で68件確認できた。

■ 他部署との連携した図書の展示

6月小特集「投票に行く前に『選挙』を、読む」、10月「子育て支援」、11月「税金とお金について」（日野税務署共同企画）など、他課や他機関などとの連携、依頼により展示した。来館者に関心をもってもらい、貸出に結び付けることができた。

■ 複合施設の特長を活かす運営

6月5日（日）に開催された「ひらやまえんにち」等で地域の方が地元を掘り下げた展示（農業・産業の発展、京王線、すこしむかしのくらし等をまとめたパネルや資料の展示）を行った。また、郷土資料館によるパネル展「七生丘陵散策コース 見晴らし台」も1階廊下、ブラウジングで実施した。足を止めてご覧になっている方も多数いた。

配布している図書館周辺の簡易地図もよく利用された。

■ 駅前立地を活かした広報の展開

平山季重ふれあい館の出入り口近くに、図書館及び市の事業等の各種チラシ・ポスターを設置し、図書館目的以外で来館した人にも、情報発信することができた。

【百草図書館】

■ ゆったりと過ごしたくなる滞在型図書館

平成31年（2019年）年1月から利用者アンケートを取ったうえで始めた館内BGMを継続した。小さいお子さん連れが午前中利用しやすいように、時間帯は10時から13時に設定した。（平日は17時から19時も。）また、静かな環境を好まれる方のためにBGMのない時間も設定した。BGMに使用したCDを借りていく方が多くみられ、視聴覚資料の貸出数が増加した。

（百草図書館における視聴覚資料の貸出数 令和4年度 2,437点、令和3年度 2,332点）

■ 百草里山地域の入口としての図書館

百草地区の地域資料コーナーを入口近くに設置し、郷土資料館の作成した資料などを収集し、

展示した。また、地域の特徴である市民農園関連の資料などを15冊購入し、令和5年度4月の展示に向け準備した。図書館ホームページにはリストを公開した。さらに、せせらぎ農園について記載のある資料等は、新着資料コーナーで表紙が見えるように展示した後、地域資料コーナーに設置した。

■ 地域につながる図書館

- 5月に在宅療養支援課と協働し「人生の『締めくくり』を考える」についての展示を行った。1階ギャラリーでのパネル展や、エンディングノートの配布（65部）なども同時に行った。エンディングノートは、あっという間に配布し終わり、担当課から追加分をもらう事となった。
- 子育てカフェモグモグへ令和2年（2020年）9月から継続して、図書館からのおすすめの本を毎月約20冊貸出している。令和4年度（2022年度）は255冊貸出。
5月22日（日）モグモグ15周年記念イベント「ふれあい動物園」（落川交流センター）では動物関連の児童書を展示した。1月26日、モグモグ主催「絵本の会」に出張し、赤ちゃんとその保護者に向けた絵本の紹介を行った。6組の親子が参加した。
- 百草台児童館50周年イベントいわむらかずおさんの作品展示に協力、65冊を団体貸出した。（12月3日）
- 三沢中地区アクションプラン会議に参加し、落川交流センターでの行事チラシ等を掲示し、市民への情報提供ができた。
- 令和3年度から特別支援学級（七生緑小あおぞら学級）への団体貸出について、先生が選んだ本を貸し出す方式から児童が来館して選んだ本を貸し出す方式に変更した。令和4年度は、あおぞら学級の児童が15名ほど来館し、1回あたり約80冊を貸出した。（年7回）
好評だったため、日野第八小たちばな学級も同様に、児童15名ほどが来館して本を選び、145冊を貸出した。（10月20日） 令和5年度は年3回来館する予定。

【移動図書館ひまわり号】

■ 市内全域サービスの実施

21か所のサービスポイントを巡回し、個人貸出を行った。あわせて53の登録団体に定期的に団体貸出を行った。（保育園・幼稚園・学童クラブは年2回、七生病院は月1回）

すべてのサービスポイントで新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を取り、サービスを実施することができた。

【実績】 個人貸出

年間利用者数	4,164人	(4,286人)
貸出冊数	24,348冊	(25,026冊)
延べ巡回回数	418回	(417回)

定期利用団体貸出

定期利用団体数	53団体（保育園、学童クラブ、病院）
	（令和3年度53団体）
貸出冊数	15,993冊（16,099冊）

延べ巡回回数 114回 (112回)

※ () 内は令和3年度の数値

■ 利用者ニーズの把握

個人貸出巡回先(21か所)の実利用者数を把握するための新たな巡回集計表を作成した。実利用者数を参考に巡回の場所や時間などを見直し、検討を進めた。

■ 地域住民の交流のきっかけとなる場(旭が丘地区センター、石田環境プラザ)への巡回利用促進に向け、以下の取り組みを実施した。

- 施設内に350冊程度常置している図書館資料を、年2回それぞれ50冊ずつ入れ替えて、新しくした。
- 「石田環境プラザ」で常置する資料は、施設職員からの要望により、地域の課題や利用者層に合わせた資料を提供した。また、提供しているリサイクル雑誌についても、同様に要望に沿った分野のものを増やした。(リサイクル雑誌は年間約200冊提供) 施設職員からは、これまでよりも利用が増えたという報告があった。
- 「巡回日程表ポスター」を掲示し、また、巡回時にはチラシを配布して巡回PRを行った。
- 利用増加に向けたPR方法の検討や、「石田環境プラザ」での新しいサービス内容について担当者間で引き続き検討を行った。

■ 子どもたちが“身近に本とふれあえる場”

「旭が丘地区センター」で実施する絵本の読み聞かせは、令和4年2月から5月まで中止していたが、6月8日より、室内換気を十分にした上で、ビニールシートの設置や一回の人数を制限するなどの感染対策を取って実施した。

■ 他機関と連携した取り組みの実施

- 「万願寺中央公園」の巡回時間にあわせて、「地域の居場所づくり、多世代交流の促進」を目的に中央公民館が企画した「デリバリーカー」が出店して、市内の生産品を販売した。令和4年度は試行で3回実施した。今後の連携については、引き続き検討を進めている。
- 児童館からの要望により、令和5年度の児童館主催のイベントへの参加を計画している。担当者間で内容の検討を行った。

■ 親しみやすい図書館

実践女子大学の学園祭『常磐祭』に参加した。(11月13日) 図書の貸出しのほか、子ども向けの各種工作や写真展示などを行った。学生だけでなく、地域住民へも図書館をPRするよい機会になった。

■ ひまわり号の広報、PR

- 図書館報「ひろば」で毎号、巡回日程表を掲載した。また、常磐祭などのイベントへの参加状況報告などを掲載して活動のPRを行った。

○ 図書館ホームページには、巡回場所の地図や巡回日程などを掲載した。また、巡回中止となった場合には「移動図書館からのお知らせ」として情報を即時掲載した。利用者に対してできるだけ早い周知に努めた。

【市政図書室】

■ わかりやすい市の施策の発信

庁内25の課から依頼された記事をデジタルサイネージで発信した。発信した記事は、合計で85件であった。(令和3年度は21課、78件)

■ 地域の情報を発信

ふるさと文化財課と連携し、令和5年1月21日、22日に多摩郷土誌フェアに出展した。日野の地域資料を販売し、新選組、日野用水、異聖歌関連の資料を中心に78冊、63,000円の売り上げがあった。

■ 姉妹都市との連携

姉妹都市・岩手県紫波町と刊行物を交換した。送付資料は、「広報ひの」「図書館報ひろば」「資料の広場(市政図書室新着図書案内)」「清流News」、受領資料は、「しわねっと(紫波町広報紙)」「紫波新聞」である。受領資料を「紫波町コーナー」に置くことにより、紫波町の施策や様子を利用者に周知することができた。

事業の課題と改善策

【課題】

令和4年度で第3次図書館基本計画の期間が終了した。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、できなかったこと、やり残したことについては、引き続き、第4次図書館基本計画に基づいて、中央図書館をはじめ各地域館や移動図書館「ひまわり号」がそれぞれの地域に根ざした拠点となるような取り組みを推進していく。

また、移動図書館については、有効かつ効果的なサービスを実施するため、引き続き巡回サービスの在り方を検討することとともに、老朽化したひまわり号の車両の更新が大きな課題として残っている。

地域資料・行政資料の収集・提供・保存については、年々増加する資料の保存場所の確保と、市役所の各課(各部署)が作成した重要な資料を網羅的に収集することが、引き続き課題としてあげられる。

【改善策】

【高幡図書館】

- ・ 図書館と市民の暮らしが繋がっていることを他部署との連携を通じてPRする。

令和4年度に実施した郷土資料館との共催展示(「高幡門前町と玉南鉄道」)では、地域の歴史に関心を寄せる市民から好評を得た。更に地域について深く知ってもらえるよう今後3年間共催展示を継続していく。

- ・中学生の職場体験や小学生の施設見学、夏休みジュニアスタッフなど、子どもたちと図書館が直接繋がりを持てる事業では、その後も継続して図書館を訪れたくなるような「仕掛け」が重要である。職場体験や夏休みジュニアスタッフとして、図書館の仕事を経験した子どもたちによる「おすすめ本の展示」をこれまで以上に充実したものとする。自らが紹介した本が貸出されることにより得られる達成感・満足感を味わってもらい、継続した図書館利用へとつなげていく。
- ・たかはたブッククラブについては、子どもたちが主体的に本と関われるようなプログラムが必要である。引き続き、参加する子どもの年齢にあい、主体的に本と関わっていけるようなプログラムを、中央図書館および他の地域館の児童担当者も交えながら構成し実施する。このことにより、他の地域館での小学生へのサービス内容の参考にする。

【日野図書館】

- ・日野宿発見隊の取り組みについては、地域の方々とのつながりを大切にしながら、活動を継続していく。
- ・地域や親子へのサービスを、中央公民館やひの児童館など他部署と連携しながら継続していく。
- ・日野図書館オリジナル企画の「本の福袋」を、継続して実施する。実施の際には、図書館ホームページ等で広報し、より多くの市民にPRする。

【多摩平図書館】

- ・乳幼児連れの保護者が気兼ねなく来館できるよう「ひよこタイム」を継続し、子育て支援関係の資料や乳幼児向けの絵本などの蔵書をさらに充実させることで、「乳幼児やその保護者の居場所となる図書館」としてたくさんの資料を提供していく。
- ・多摩平の森ふれあい館内の他施設との連携だけでなく、近隣の施設（例えば、保育園・幼稚園、日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」など）とも連携した取り組みを進めていく。
- ・地域資料の積極的な収集に努め、地域情報コーナーのさらなる充実をはかる。
- ・適切に資料の除籍を進め、常に最新の情報が得られるよう資料を更新する。特に医療や法律に関する分野は、注意を払う。
- ・平和と人権課などの協力も得ながら、外国にルーツのある方の図書館へのニーズを把握する。
- ・「おすすめの本」の紹介など、利用者との双方向のコミュニケーションができる展示や仕掛けを考え、実施していく。
- ・図書館の取り組みについては、プレスリリースするなど積極的に広報していく。

【平山図書館】

- ・ヤングケアラーに関する資料・情報の収集を引き続き実施する。福祉政策課に情報提供するとともに事業等で連携できるものがあるか検討していく。
- ・引き続き、闘病記やがん情報等、高齢者のニーズに合わせた健康・医療情報の収集・提供を推進する。
- ・平山地域周辺に関連した話題について、関係各課と連携した展示を実施する。地域情報の発信について効果的な方法を検討し、実施していく。

【百草図書館】

- ・ 図書館利用を促すため、近隣の幼稚園や商業施設に百草図書館およびおはなし会のチラシを配布し、PRに努める。
- ・ 1階ギャラリーの利活用を促すため、市民へのPRに取り組む。あわせて、市役所各課と連携した展示を行うため、協力を求めていく。
- ・ 入りやすい1階入口の演出に努める。
- ・ 親子連れが利用しやすい図書館の環境を整える。児童室のレイアウトを変更し、靴を脱いで上がるスペースを設置する。

【移動図書館】

- ・ 個人貸出のサービスポイントの増減や定期巡回団体へのサービスの見直しなど、「移動図書館の今後のあり方」について、図書館全体で検討して決定する。
- ・ 「旭が丘地区センター」「石田環境プラザ」の利用者増に向けたサービス内容の検討・見直しと巡回サービスを広く市民に周知するためのPR方法を検討し、実施していく。
- ・ 定期巡回団体に対して、リクエストを受け付けることを検討したが、実施には「体制の見直し」と「資料の十分な確保」が必要である。児童図書の買い替えや、新規利用者確保に向けた資料選定など今後も継続して実施していく。
- ・ 「ひまわり号」の運行状況を含めた図書館情報を館報「ひろば」や図書館ホームページを利用して市民への周知に努めてはいるが、十分に活かしきれていない。各媒体でのより効果的なPR方法を検討して取り入れる。
- ・ 老朽化した「ひまわり号」の車両の更新については、車体サイズの検討や車両の仕様書の見直しなど行い、できるだけ早く実施できるようにする。

【市政図書室】

- ・ 資料の保存場所について、市の施設の中で使用可能な場所がないか、アンテナをはり書庫の確保に努める。
- ・ 子ども向け資料の収集に努め、一定程度確保できた段階で、子どもたちにPRしていく。
- ・ 庁内各課の資料作成予定を毎年調査することで、収集すべき資料を把握する。図書館で保存すべき資料については、紙媒体や電子媒体での提供を依頼する。

事業項目	3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (1) 第4次子ども読書活動推進計画推進事業
事業の概要	
<p>■ 関係各課の進捗状況の調査</p> <p>未着手の部分を洗い出し、計画的に取り組めるようにするとともに、進捗状況を図書館協議会や教育委員に報告する。</p> <p>■ 子どもの読書活動を推進することを目的としたイベントの実施</p>	
事業の成果	
<p>■ 関係各課の進捗状況</p> <p>関係各課に対して、令和3年度の「第4次子ども読書活動推進計画」の進捗状況調査を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止になった事業もあったが、感染症対策を十分にとり、工夫した活動を行っていることがわかった。主な状況は以下の通り。</p> <p>(保育園)</p> <p>ボランティアによるおはなし会は、部外者を入れることができないので、できなかった。</p> <p>(発達・教育支援課)</p> <p>通園事業で利用していた移動図書館による団体貸出を控えたため、新たな本との出会いの機会が減った。</p> <p>(図書館)</p> <p>感染症対策を十分にとり、各図書館でのおはなし会や、子育てひろばへの出張おはなし会を開催した。</p> <p>(中央公民館)</p> <p>受講者数の制限を行い、「手作り絵本講座」を実施した。</p> <p>(郷土資料館・図書館)</p> <p>小中学生の地域学習のサポートともなるよう、「東京大空襲の日」に併せて、多摩平の森ふれあい館で行った平和に関する展示(3月12日～15日)のほか、百草図書館で百草の歴史を楽しむパネル展(12月8日～4月9日)を行った。</p> <p>(教育センター)</p> <p>平成31年(2019年)3月に作成した副読本「歩こう調べようふるさと七生」を児童生徒が使用するタブレット端末で閲覧できるように整備した。</p>	
事業の課題と改善策	
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各課における第4次子ども読書活動推進計画にある事業の推進。 ・ 参加型の児童サービスの充実。 ・ ボランティア団体の活動を把握し、図書館がそのハブとなる。 ・ ホームページのコンテンツの充実と市内全体に行き届くような周知(方法の確立)。 	

【改善策】

- ・引き続き関係各課への計画の進捗状況調査を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症の動向・対応に変化があった令和5年度も、関係各課に調査を実施し、各課の子ども読書活動推進に関わる課題解決の糸口となるよう、調査結果をフィードバックする。
- ・(令和2年度から延期されていた)市内在住絵本作家、つがねちかこさんの講演会並びに原画展を6月～7月に開催する。ご自身の体験から「絵本と子育て」「絵本製作の過程」などを市民に伝えてもらい、子どもの読書活動の推進に繋げる。
- ・「おはなし会」「たかはたブッククラブ」等、参加型の児童サービスを継続して行いながら、子どもと本を結びつける事業としてよりよい形を検証、検討する。
- ・「子どもの読書に関するボランティア懇談会」を令和5年度は再開し、各団体の活動を把握し、市民に情報提供できるよう整える。
- ・図書館ホームページ上の、子ども向け、子どもに関わる大人向けコンテンツの整理と充実を図り周知する。

事業項目 3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業
(2) 乳幼児へのサービス

事業の概要

第4次日野市子ども読書活動推進計画にも基づき、0歳児から就学前までの乳児・幼児および保護者の読書活動を推進する。

事業の成果

■ おはなし会の実施

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策(マスク着用、飛沫防止用ビニールシートの設置等)を徹底しながらおはなし会を行った。

中央・高幡・多摩平・平山・百草図書館は、0・1・2歳の会を毎月1回実施した。

中央・高幡・多摩平・百草図書館は、3・4・5歳の会を毎月実施した。

日野図書館は、年齢制限なしのおはなし会を毎月実施した。乳幼児が参加した会もあった。

	開催した回数	参加者数 (12/17以降開催分)
中央	012歳の会(毎月第4木曜日開催)：12回 3歳～未就学児の会(毎月第2水曜日開催)：12回	乳幼児 16名 大人 15名
高幡	012歳の会(毎月第1水曜日開催)：12回 3歳～未就学児の会(毎月第1水曜日開催)：12回	乳幼児 39名 大人 35名
日野	年齢制限なし(毎月第3水曜日開催)：12回	乳幼児 11名 大人 7名
多摩平	012歳の会(毎月第2木曜日開催)：12回 3歳～未就学児の会(毎月第4水曜日開催)：12回	乳幼児 38名 大人 35名
平山	012歳の会(毎月第3木曜日開催)：12回	乳幼児 7名 大人 5名
百草	012歳の会(毎月第3水曜日開催)：12回 3歳～未就学児の会(毎月第3水曜日開催)：12回	乳幼児 33名 大人 22名

(ランサムウェア感染事故により、令和4年12月16日以前の参加者数は不明)

■ 「絵本の福袋」の貸出

初めての取り組みとして、0・1・2歳向けの福袋、3・4・5歳向けの福袋を各館で作成し、1月に貸出をした。福袋の中身が見えないように紙袋や包み紙に入れ、干支のうさぎや、季節の絵本などを3冊ずつ入れた。いつもと違う絵本を見ることができてよかったという意見もいただいた。1月中には、全て貸出された。

作成した福袋の数(各館の規模に合わせて作成)

・中央・日野・平山・百草図書館

0・1・2歳向け福袋 3冊×10セット=30冊

3・4・5歳向け福袋 3冊×10セット=30冊

・高幡図書館

0・1・2歳向け福袋 3冊×12セット=36冊

3・4・5歳向け福袋 3冊×10セット=30冊

・多摩平図書館

0・1・2歳向け福袋 3冊×30セット=90冊

3・4・5歳向け福袋 3冊×10セット=90冊

■ 絵本パックの貸出

短い来館時間内でも、乳幼児の保護者が手軽に絵本を選べるような体制を継続した。令和3年度と比べて、ゆっくり館内で本を選べるようになったためか、貸出冊数が減った館もあるが、テーマごとの絵本を手軽に貸出ができるという声も多いので、継続して取り組んだ。

中央図書館

令和3年度から引き続き41セット設置。令和4年度の貸出回数は、のべ468冊。

高幡図書館

令和3年度から引き続き6セット設置。令和4年度の貸出回数は、のべ69冊。

日野図書館

令和3年度から引き続き5セット設置。令和4年度の貸出回数は、のべ240冊。

平山図書館

令和3年度から引き続き18セット設置。令和4年度の貸出回数は、のべ165冊。

百草図書館

令和3年度から引き続き5セット設置。令和4年度の貸出し回数は、のべ90冊。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 安心して参加できるおはなし会の継続。
- ・ 家でも本に親しむための、図書館ホームページコンテンツの検討。
- ・ 絵本パックの発展的継続の検討。

【改善策】

- ・ 市の感染症対策に基づいたおはなし会を実施する。
- ・ 図書館ホームページに乳幼児向けおすすめ本のリスト等を掲載する。
- ・ 絵本パックについては、「図書館にある絵本パックは全部借りてしまったので、新しいセットがないか？」という問い合わせが何件か寄せられていることから、各館で持っている絵本パックを他の館と入れ替えすることを検討する。

事業項目 3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (3) 小中学生へのサービス
事業の概要
<ul style="list-style-type: none"> ■ 小中学生向け資料の充実 ■ 中学生と作家の交流事業 ■ 中学生職場体験受け入れ ■ 本の森学級文庫の充実
事業の成果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学生向け資料の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ おはなし会の実施 <p>新型コロナウイルス感染症予防のため、小学生向けのおはなし会は、参加者の連絡先が確認できる申込制、時間短縮、定員制で2021年10月から再開したが、引き続きこの形式で続行した。申込制方式は、参加者の年齢や人数が把握できるため、プログラムもより子どもに沿った内容を準備できるようになった。また、図書館員とも親しくなり、継続して参加する子どももいた。</p> ○ 「夏休みジュニアスタッフ」の実施 <p>「夏休みジュニアスタッフ」も定員を上回る申し込みがあり、11名の参加となった。「開館前に予約の本を出したり、本を返してきれいに並べたりしていることを初めて知った。これからも図書館で気に入った本を借りようと思う。」などの感想があった。</p> ○ 小学校との連携 <p>小学3年生を対象に行っている学校訪問(図書館ガイダンス)を、希望する15校に実施した。(令和3年度は10校)</p> <p>授業での見学やボランティア活動等での図書館への来館は、小中学校あわせて14校だった。(令和3年度も14校)</p> ○ 「たかはたブッククラブ」の実施 <p>連続した3か月を1期として、全3期を実施(1期について3日実施。計9回を開催)。定員制(6名)で、小学生に本の世界の楽しさを伝えた。「ほかの人に自分の好きな本の紹介をするのが楽しかった」という感想もあり、気に入って繰り返し参加してくれた子どもたちもいた。(延べ35名参加)</p> <p>【実施内容例(第3期 1月～3月)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月 点字体験(しおりを自作し持ち帰り) 職員によるブックトーク「ことば」 2月 本の修理体験 タイプライター使用体験(分類ラベル作成) 3月 2月に実習した修理本の確認 ひなまつりにちなんだ折り紙作成 アンケート(おすすめ本の紹介、後日紹介本と併せて展示) ○ 外国語絵本の収集・提供 <p>子ども向け外国語資料は、幅広い言語の資料を収集することとしている。令和4年度は、中国語の</p>

絵本を15冊購入し、提供した。現在児童書は、英語・中国語・韓国語の資料を所蔵している。

■ リストの配布

令和3年度に作成した本の世界の楽しさを伝えるリスト3点を、「子ども読書の日」に合わせて4月に市内全小学校の2年生とその保護者に向けて配布した。このリストは、絵本から読み物へ移行する段階で読書に困難さを抱く子どもに、本の世界の楽しさを伝えられる本を紹介したもの。(「どんなほんがすき?こどもようpart1」「どんなほんがすき?こどもようpart2」「大人向け どんなほんがすき? はじめてのひとり読みにおすすめの本」の3点)

また、このリストに掲載した図書の展示を4月から5月にかけて各館で行った。

■ 中学生と作家の交流事業

中学生と作家の交流事業では、汐見夏衛氏を招いて、講演会を11月6日(日)に平山季重ふれあい館で開催した。(参加者44名)関係者向けのオンライン配信も行った(視聴人数不明)。事前に、市内各中学校の中学生25名による企画運営会議を3回行った。企画運営会議は、異なる学校や学年の生徒が交流を持つ機会ともなっている。企画運営した中学生から講師へのメッセージでは「ずっと会ってお話を聞いてみたかった」、「今よりもっと読書を楽しんで本に触れたいと思えるきっかけにもなりました」という声が寄せられ、作家との交流が読書のモチベーションとなっていることが伺えた。また、代表生徒からは「今人気の作家さんにお話が聞けて本当に良かった」「少ない期間ながらも、全員で協力して成功させるために努力した時間はとても貴重で楽しい時間でした」等の感想があり、講演会来場者からは「今日ここに来なければ聞けない話を沢山聞くことができた」、「生徒がよく頑張っていました」などの感想があった。

■ 中学生の職場体験の受入れ

中学生職場体験については、感染症対策を十分にとり、体験希望のあった学校から全館で10校38名の生徒を受け入れた。

■ 「本の森学級文庫」の充実

「主要事業3 第4 次子ども読書活動推進計画事業 (5) 学校支援」の項目を参照。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 小学生向けおはなし会、夏休みジュニアスタッフの継続実施。
- ・ 図書館ホームページのコンテンツの充実。
- ・ 学校訪問(図書館ガイダンス)の実施。
- ・ 作成した図書リストの効果的な活用。
- ・ 中学生と作家の交流事業については、企画運営に参加する中学生を募るにあたり、従来の中学校を通じた選出を続けるかどうか、検討が必要。また、今後選出を中学校に依頼しない場合、より広く宣伝し、事業を周知する必要がある。

- ・たかはたブッククラブを継続して実施するとともに、これまで実施してきた内容を再検討し、子どもたちが主体的に本と関わることができるようなプログラムを目指す。

【改善策】

- ・「小学生向けおはなし会」については、引き続き事前申し込み制をとる。申込制によるメリット(年齢層の把握によるきめ細やかなプログラム作成等)を生かしつつ、新型コロナウイルス感染症5類への移行等、状況の変化に応じて参加方式の検証を続けて行う。「たかはたブッククラブ」については、1期につき3回連続(月1回)実施、定員制であることを活かし、その後、参加した子どもの図書館の継続利用につながるようなプログラムを実施する。また、他館で同様の実施形態が可能か検討する。
- ・小学校3年生を対象に行っている学校訪問(図書館ガイダンス)については、担当する各地域館の魅力を伝えるガイダンスに取り組む。
- ・「どんなほんがすき?こどもようpart1」他、作成した図書リストは、紙媒体で配布、図書館ホームページで紹介、リスト掲載図書の展示等、多方面からのPRを行う。
- ・中学生と作家の交流事業は、この事業を実施していることを広く周知するため、積極的に広報を行う。事業の対象となる中学生に関心を持ってもらえるよう、講師の選定や事業の実施方法について検討する。
- ・たかはたブッククラブについては、引き続き、参加する子どもの年齢にあい、主体的に本と関わっていけるようなプログラムを、中央館および他の地域館の児童担当者も交えながら構成し実施する。このことにより、他館での小学生へのサービス内容の参考ともする。

事業項目 3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (4)青少年へのサービス
事業の概要
第4次子ども読書活動推進計画に基づき、青少年の読書活動を推進する
事業の成果
<p>■ 「日野ヤングスタッフ」の活動支援</p> <p>○ ビブリオバトルの開催</p> <p>12月4日(日)に閉館後の高幡図書館で、ビブリオバトルを開催した。発表者として7名(うち日野ヤングスタッフ4名、一般参加3名)、観戦者として15名が参加した。発表者、観戦者ともに、小学生から年配の方まで、幅広い年齢の方が集まった。</p> <p>ビブリオバトルと同時に、日野ヤングスタッフが飾り付けたイルミネーションと、「夜」をテーマとして本の展示を行った。展示本は、ビブリオバトル閉会後に貸出した。その後、多摩平、平山でも同じ本を展示した。(高幡:12月6日～1月6日、多摩平:1月11日～2月16日、平山:2月17日～3月19日)</p> <p>○ 中学校での「ブックパレード」の実施</p> <p>3月8日(水)に、大坂上中学校図書委員会において、日野ヤングスタッフ2名がおすすめの本を紹介した。図書委員会の生徒31名の参加があった。</p> <p>ブックパレード終了後、紹介した本は多摩平図書館で展示・貸出をした。(3月8日～4月15日)</p> <p>○ 発行物の作成・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館ホームページ「ヤングスタッフ活動日誌！」の更新(10回) ・ 図書館ホームページでのリレー小説第2回公開(8月23日～)、第3回公開(9月30日～) ・ 作家リストの発行準備 ・ 連想企画「絵画・短歌などから物語を想像する」で作成した、ヤングスタッフ各々の作品を図書館ホームページで公開(8月23日～)。 ・ 図書館ホームページ上に「Web感想箱」を設置し、ヤングスタッフ事業への感想や要望を募った。(5月6日～6月30日) ヤングスタッフの活動を応援するような投稿が2件寄せられた。 ・ 「Web感想箱」へ寄せられた意見をもとに、ノートに悩みを記入してもらい、ヤングスタッフがその悩みにおすすめの本を紹介する「お悩みノート」を作成した。高幡図書館ヤングスタッフコーナーに設置したところ(9月1日～)、6件の投稿があった。ヤングスタッフコーナーの掲示板と同様に、ヤングスタッフがこれらひとつひとつに答え、その回答を掲示した。 <p>○ 「日野ヤングスタッフ」と他団体との交流</p> <p>11月12日(土)～13日(日)に開催された実践女子大学学園祭「常磐祭」に、ヤングスタッフを選んだ本の展示(テーマ「旅行」、30冊展示)と、日野ヤングスタッフの活動紹介ポスターの掲示で参加した。ヤングスタッフ紹介ポスターは、新しいものを作成した。</p> <p>大学連携事業を通じて、実践女子大学「ららすた」(学生による大学図書館スタッフ)と活動の様子を共有し、交流機会の検討をおこなった。</p> <p>また、実践女子大学図書館学生スタッフ企画の「選書ツアー」の冊子を高幡図書館ヤングスタッフコーナーで配布した。(令和3年4月)</p>

■ 各館での取り組み

- 日野ヤングスタッフ作成の葉を高幡・多摩平・平山の各図書館で配布した。
(令和4年2月9日～7月31日、合計440枚)
- 高幡図書館ヤングスタッフコーナーの掲示板を継続した。利用者からのヤングスタッフのおすすめ本への感想や、本の紹介文などのコメントが集まった。ヤングスタッフからの回答を掲示した。中学校ブックパレードの際も中学生にコメントを書いてもらった。(全体で39件)
- 多摩平図書館での「旬の推し本」展示の継続(～3月8日)
- 多摩平図書館にて中学校での「ブックパレード」で紹介した本の展示(3月8日～)
- 日野ヤングスタッフによる展示(巡回展示として、同じ本の展示を多摩平、平山、高幡で行った)
第1回テーマ「日記」
(多摩平:9月1日～10月30日、平山:11月1日～12月28日、高幡:1月5日～2月28日)

■ その他の取り組み

- 新たなヤングスタッフメンバーの募集
さまざまな活動を展開した結果、2名の新規メンバーが加入した。
大学生1名 (ホームページなどで興味を持って)
高校生1名 (ビブリオバトルへ興味を持って)
*令和4年度のスタッフ数・9名
- 定例のミーティングは、前年度に引き続き、ZOOMを使ったWeb会議と対面を併用して活動を行った。実施回数は11回であった。
- 高幡図書館ヤングスタッフコーナーの看板の更新
古くなったものをリニューアルして作り直し、加えて、ヤングスタッフの集合写真を貼り、日野ヤングスタッフの雰囲気は伝わるようにした。
- 11月12日(土)に開催された「ひのまなびのまつり2022」(生涯学習課主催 会場:イオンモール多摩平の森3階イオンホール)の、日野市の生涯学習の場を紹介するコーナーで、ヤングスタッフ事業(12月開催のビブリオバトル)の紹介ポスターを掲示した。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ オンライン等を活用したヤングスタッフの活動継続。
- ・ 就職などで活動の中心となるメンバーの卒業が見込まれ、ヤングスタッフ内での世代交代が起きていること。
- ・ さらに多くの高校生、大学生が参加できる機会を広げ、活動を進展させること。
- ・ 活動内容のPR方法の検討。

【改善策】

- ・ Web会議を継続し、意見交換する機会を定期的に設けるようにする。
- ・ 図書館ホームページの「日野ヤングスタッフ」のページについて更新を継続し、活動の発信を行う。
- ・ ヤングスタッフ募集チラシを更新する。
- ・ 活動内容の引継ぎや情報共有などを行い、活動の継続を図る。

事業項目 3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業
(5)学校支援

事業の概要

- ・学校図書館を支援するために、小中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習することができるよう、学校搬送便や読み物セット「本の森学級文庫」の配本を実施する。
- ・小中学生の読書活動の推進を図るため、司書教諭連絡会等での情報交換、学校からの依頼による調べ学習のための資料の搬送、貸出資料リストの提供等により、学校図書館との更なる連携の強化を図る。
- ・図書館・学校図書館システムを活用し、より迅速、正確に学校図書館と情報共有する。

事業の成果

■ 「本の森学級文庫」の配本

令和4年度は、2学期の配本時より、全小学校の5学年用の図書を各校約20冊ずつ増やして配本した。これにより、全小学校の全学年に対して平均60冊の本を配本することができた。

【本の森学級文庫配本実績】

小学校17校 各学年8年3回(学期ごと)配本。

延べ51回 18,024冊 (令和3年度実績 延べ51回 17,099冊)

■ 学校搬送便の運行

小中学校の調べ学習・宿題・読書指導等で図書などの資料が必要な場合、各学校に学校搬送便で送り、貸出している。「はたらくるま」や「昆虫しらべ」など依頼の多いテーマを参考にして学校搬送用に新たに資料を購入し、学校からのリクエストに応じて貸出を行った。

【学校搬送実績】

		学校数(校)	クラス数(クラス)	延べ回数(回)	資料数(冊)
調べ学習用 資料搬送	小学校	15 (17)	54 (45)	93(89)	3,065 (2,997)
	中学校	2 (2)	4 (2)	5 (3)	236 (153)
特別支援学級 搬送	小学校	3 (2)	3 (2)	15 (8)	912 (387)
合計		20 (21)	61 (45)	113 (93)	4,213 (3,537)

※ ()内は令和3年度(2021年度)実績

■ 学校図書館との連携強化

○ 学校図書館への訪問

学校司書が配置されている3校の学校図書館を学校課と図書館の担当者で見学した。司書教諭・学校司書と情報交換(児童・生徒の読書活動、学校図書館の利用状況、調べ学習の内容の変化についてなど)を行い、連携を強化した。

5月19日 日野第四中学校 6月2日 旭が丘小学校 6月28日 日野第六小学校

○ 図書のミニ展示会と学校へのリサイクル図書頒布

6月1日(水)の小教研図書館部会で、児童図書関連出版社による図書のミニ展示会を開催した。同時に、学校で利活用してもらうために図書館のリサイクル図書を頒布した。(冊数は不明)

○ 学校図書館市政協力員・学校司書の研修

8月17日(火)、学校課主催の市政協力員・学校司書の研修で、図書館から、「情報セキュリティ」について、併せて「選書・本の勧め方など」についての研修を実施した。

○ 司書教諭連絡会への参加

11月15日(火)、司書教諭連絡会に参加した。学校搬送の利用法や学校訪問についての説明を行った。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・「本の森学級文庫」について、児童数に応じたクラス単位での配本を行う。
- ・年度初めは、学校搬送便についての問い合わせが増える傾向がある。担当者以外の職員が対応した場合、その場で回答できないケースが多々あり、効率が悪い。
- ・調べ学習に役立った本について学校の意見を集め、資料の充実を図る。

【改善策】

- ・「本の森学級文庫」について、児童数に応じたクラス単位での配本を可能にするための資料費(図書費)の確保に努める。また、さらに充実したものとなるよう、教育指導課や学校とともにより効果的な方法を検討する。
- ・図書館職員全体で学校搬送事業についての情報共有を図る。担当用の詳しいマニュアルを作成するとともに、簡単なものも併せて作成して事業を整理して、担当者以外の職員にもわかりやすくする。職員体制や業務分担を見直し、学校などからの問い合わせにも適切な回答するなど業務が効率よくできるようにしていく。
- ・調べ学習に役立った本についてのアンケートを、簡単に答えられるような形式(双方向でやりとりできるような)に変更し、より現場の声を集められるようにする。

<p>事業項目 4 障害者サービス事業</p>
<p>事業の概要</p>
<p>通常の印刷文字での情報入手が困難な方や、図書館への来館が困難な方などに対し、情報提供や情報入手サポートを行う。これらのサービスについて広く周知し、必要とする人に提供する。</p> <p>主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 音訳・点訳資料の制作・貸出 ■ 音訳・点訳者の養成 ■ 対面朗読 ■ 資料宅配サービス ■ 読書機器の使い方指導 ■ その他
<p>事業の成果</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 音訳・点訳資料の制作・貸出 <ul style="list-style-type: none"> ○ 制作した音訳・点訳資料は、利用者に図書館の情報を積極的に提供し、すべて利用者からのリクエストに基づいて実施した。 ○ 令和4年度は、点字図書・録音図書とも子育て中の視覚障害者が自分の子どもに読み聞かせるための絵本を制作した。(30タイトル以上) ○ 個人貸出に加え、七生特別支援学校や放課後デイサービスへの貸出も行った。 ○ 学習障害のある小学生のために録音図書やマルチメディアDAISY図書の提供をした。 ○ 令和4年度の資料の作成件数・貸出件数は、令和4年12月のランサムウェア感染事故によるシステム障害のため、不明となった。 ■ 音訳・点訳者の養成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 音訳者の音訳活動の質を高めるため、9月5日(月)・12日(月)の2回に分けて音訳者講習会を実施した。参加者は36名、その内5名がオンラインで受講した。(令和3年度:12名) ○ 音訳者が減少していることへの対応として、市内の朗読サークルに音訳者の募集を依頼し、1名の経験者の方を補充することができた。 ○ 音訳者に対する個別講習や、点訳絵本制作に関するアドバイスを適宜実施した。 ○ 音訳者登録数 36名(36名) 点訳者登録数 9名(15名) ※()内は令和3年度の数値 また、「八王子六つ星会」と「いちょう点訳会」の2団体にも点訳の依頼をした。 ■ 対面朗読 <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度に引き続き、ZOOMによるオンラインでの対面朗読を積極的に実施した。 新規の定期利用者が1名増えた。 ○ 令和4年度の対面朗読の実施状況は次のとおり。 <p style="text-align: center;">115件 延べ224時間 延べ音訳者数208人 利用者8人 そのうちオンライン35件 延べ61.5時間 利用者2人</p>

(令和3年度: 85件 延べ 193 時間 延べ音訳者数 150 人 利用者8人
そのうちオンライン 3 件 延べ 5.5 時間 利用者1人)

■ 資料宅配サービス

- 病気や障害など、何らかの事情で図書館まで出向くことが困難な方に本を届ける資料宅配サービスを、職員と宅配ボランティアによって実施した。職員が直接利用者とは対面する機会にもなった。
- 病気などで外出困難な利用者の場合、宅配サービスを受け新しい情報を得ることで回復の手助けとなったり、職員と対面することで気分が張りが出たりする等の効果を得ることができた。
- 令和4年度の資料宅配サービスの利用実績、ボランティアと職員の内訳については、令和4年12月のランサムウェア感染事故によるシステム障害のため不明となった。

■ 読書機器の使い方指導

- 引き続き、視覚障害者に対して、スマートフォン講習を行うことで、スマートフォンを用いて情報を得ることができるようになった方が3名増えた。
- 点字指導の対象者が増えた。(1名・中途視覚障害) 3月から計10時間指導を行った。

■ その他

- 引き続き、コロナ禍への対応を行うとともに、利用者の利便性を考慮したサービスを行った。
- 市内小学校6校からの依頼により、4年生を対象に点字授業を実施した。(令和3年度は6校) 授業では、点字図書や生活用品の紹介、視覚障害者の生活の紹介等を行った。子どもたちは、点字の書き方を知り実際に作成することで、点字や視覚障害についての理解を深めることができた。
 - 図書館の利用に障害のある市民やそのご家族に対して、より積極的に図書館の障害者サービスをPRするため、地域協働課と連携し、自治会回覧板にて、案内パンフレット「障害者サービス利用案内」「すべてのこどもたちに読書の喜びを」の配布を開始した。(令和4年度実績: 18自治会 延べ351件)
 - 年度末に、約100か所の市内福祉関係施設、眼科医療機関にも(上記)資料を配布した。このことからサービスの利用につながった方が4名いた。
 - 子育て課のイベント「みんなの遊・友ランド」に参加し、マルチメディアDAISY図書紹介のデモンストレーションを行った。(令和4年6月12日(日)ふれあいホールにて)
 - 障害福祉課による「障害者週間イベント」とコラボレーションして、中央図書館で障害に関する図書の展示を行った。(令和4年12月5日～11日)

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 次世代に障害者サービスを引き継いでいく職員体制づくり。
- ・ 音訳者・点訳者の高齢化への対応。
- ・ システム障害に伴うパソコン環境の復旧(改善)。

- ・ 障害者サービスを必要とする市民への周知の継続。

【改善策】

- ・ 図書館全体や市役所の関連部署等との連携、交流を積極的に行う。
- ・ 特に需要の多い音訳サービスを担う音訳者について経験者を募集する。
- ・ 個人情報の安全な管理方法を構築し、セキュリティ対策を万全にする。
- ・ 聴覚障害者の方の利用を促すため、館内入口に手話の表示をする。
- ・ 引き続き自治会や福祉、医療施設を通じて障害者サービスの周知を行う。

事業項目 5 地域・行政資料のデジタル化事業
事業の概要
<p>日野市のあゆみを伝える貴重な資料である地域・行政資料を将来に残すため、また、より多くの方に利用してもらうために、デジタル化した地域・行政資料を図書館ホームページで公開する。</p> <p>令和2年度に実施した昭和期の日野市刊行物のデジタル化に続く取り組みとして、令和3年度には平成期前半の日野市刊行物をデジタル化した。</p> <p>令和4年度からは、市の「政策課題連携枠事業」に「(仮称)デジタルアーカイブ日野構築」を提案し採択されたため、図書館とふるさと文化財課の共同事業として、令和8年度までの5年計画で取り組んでいく。</p>
事業の成果
<p>令和4年度は歴史的公文書のデジタル化に着手した。「歴史的公文書のデジタル化事業」として明治期からの議会会議録、市制施行関連文書、旧七生村行政文書等約25万枚(12万6111コマ)を業務委託によりデジタル化した。</p> <p>平成16年以降の各課が所有するデジタル資料の内、政策形成において重要度が高いと考えられる資料を抽出し、各課に照会した。27課・147件の資料を図書館ホームページの「地域・行政資料デジタル」に追加し、公開した。(令和5年7月14日現在、1076件)</p>
事業の課題と改善策
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館ホームページで公開するには、デジタル化した公文書の個人情報等の掲載の有無をすべて確認する作業が必要となる。 ・ 旧七生村行政文書は未整理の状態で、デジタル化に未着手の分が約70箱残っているので、デジタル化する予算の獲得が必要となる。 ・ ペーパーレス化が進む平成期後半からの各課資料、刊行物等のPDFデータの確実な収集。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報等の確認は、議会事務局や総務課と連携し行う。 ・ デジタル化の新たな予算獲得に、政策改題連携枠予算の活用だけでなく、デジタル田園都市国家構想推進交付金等の活用可能性を調査研究する。 ・ ペーパーレス化した市刊行物を確実に収集し、可能なものは公開できるよう、各課への依頼・照会の方法を確立し、市政図書室の役割と資料提供のルールについてさらに周知を図る。 ・ 令和6年度分より、図書館ホームページで公開している「地域・行政資料デジタル」の年度別公開件数を集計する。

事業項目 6 図書館におけるランサムウェア感染事故対応

事業の概要

令和4年12月17日未明、図書館業務用のファイルサーバーなど図書館システムの一部が、外部からの攻撃によりランサムウェアに感染した。この事態を受け、情報政策課の協力のもと教育委員会内に対策委員会を設置し、委託事業者と連携して早期解決に向けた原因調査および復旧作業を実施した。

事業の成果（経過、原因、とった対策等）

<経過>

令和4年12月17日、図書館システムの一部がランサムウェアに感染したことが判明した。このことは、①プリンタの電源を入れた直後の大量印刷、②共有フォルダのファイルにアクセスできないこと、③掲示板ツールにアクセスできないこと、の3点について担当者が報告を受け、印刷物の確認および共有フォルダの確認により判明した。なお、委託事業者が図書貸出システム(クラウド側)の確認したところ、図書貸出システムへの感染は確認できなかった。このことをうけ、暗号化が確認された機器をネットワークから分離し、事務に必要な最小単位の端末について目視およびセキュリティソフトによる確認を実施後、窓口業務は継続した。ただし、利用者向け公開端末及び障害者サービスについてはリスクを考慮し休止した。

12月19日、対策委員会(教育長、教育委員会内の関係部署、総務部総務課、情報政策課など)を設置し、対応を開始、委託事業者などの協力のもと原因究明に向けた調査を開始した。

12月28日、委託事業者の調査により、①ネットワーク機器の脆弱性を利用した外部からの攻撃による感染であること、②サーバーの通信ログから相応の通信を確認できなかったため情報漏洩の可能性は極めて低いこと、の結果がでた。併せて、事業者からセキュリティ対策も含めた復旧案も立案された。

12月29日、復旧案に基づく復旧作業を開始した。

令和5年1月19日、復旧作業を完了し、休止していたサービスを再開した。

<予算>

本事業にかかる支出については、緊急であったため予備費(12,612 千円)を流用して充てた。支出の内容は以下のとおり。

感染経路調査業務委託(復旧案の立案も含む)	770 万円
システム再構築業務委託	484 万円
その他	72 千円

<復旧案概要>

- 作業内容
 - ネットワーク機器の更新(機器交換、OS 更新など)
 - 図書館内のサーバーの再構築
 - 全業務用端末の再セットアップ
 - ※ 被害を受けたシステムに保存していた事務文書はバックアップサーバーも被害を受けたことにくわえ復号化が困難なため復旧対象外とした。
 - そのため、一部統計が不明となった。

2. セキュリティ対策概要

アカウント設定の変更

ネットワークの堅牢化

バックアップおよびログ取得の仕組みの変更

事業の課題と改善策

【課題】

- ・侵入経路が図書館内設置の機器であり、委託事業者が管理しづらい環境にあったこと。
- ・保守内容について、市側と事業者側との認識の整合がとれていない部分があり、一部の機器がメンテナンスから漏れていたこと。

【改善策】

- ・保守対象を明確にするほか、次期システムでは、業務用の機能もクラウド化することでセキュリティ的により強固な環境とする方向で検討し、導入する。

第3次日野市立図書館基本計画の取組

事業項目	1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします
事業の概要	
人と地域のつながり・文化を創る取り組みを行う。	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域・行政資料の収集・提供・保存 (2) 市民に役立つ情報の提供 (3) 市民の図書館活動・運営への参加 (4) 地域で活動する団体との連携 (5) 関係機関との連携 	
事業の成果	
<p>(1) 地域・行政資料の収集・提供・保存</p> <p>■地域・行政資料の収集・提供・保存</p> <p>【高幡図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別置していた白書の最新号とバックナンバーを並べて書架に配置し、まとめて閲覧できるように整理した。 <p>【多摩平図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も多摩平の森ふれあい館で活動している句会の会誌『暦日』（隔月刊）を継続して寄贈してもらい、地域資料として収集・提供した。 ・多摩平団地についての地域資料コーナーの資料を、記載されている内容の年代ごとにリストに分類し、まとめた。また、本の表紙にシールを貼り、どの年代について書かれた資料かわかるように工夫した。 ・「日野市」をテーマとして、日野市や日野市関連人物が紹介されている資料、日野市民の著作を集め、展示・貸出を行った（12月1日（木）～12月28日（水））。 <p>【平山図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月に郷土資料館で開催された「鎌倉殿の平山季重」展に関連した資料を展示した。遠方からも歴史ファンが来館した。また、平山季重関係資料からバーコードのないファイル資料（日野市立図書館で主題に沿って作成した資料）の貸出もした（2件）。 ・行政資料等は、展示を重視し、予算書等の最新情報を適宜市民に提供した。 ・「ひらやまえんにち」（6月5日（日））において、平山季重関連資料の展示を実施した（10冊程度）。 ・平山季重ふれあい館1階において、郷土資料館と市民グループが協働したパネル展「七生丘陵散策コース 見晴らし台」を実施した（3月25日（土）～5月14日（日））。 	

【百草図書館】

- ・百草地域資料のコーナーを入口近くに設置、展示した。郷土資料館作成資料や市民農園関連資料を中心に、積極的に収集した。
- ・百草地域関連資料（約100冊）と、小島善太郎関連資料（約20冊）の資料リストを作成し、図書館ホームページで公開した。

【中央図書館】

- ・レファレンス室および書庫のレファレンス資料を点検し、日野市立図書館資料除籍・保存基準に沿って、出版から20年以上経過したもののうち、新版のあるもの、相互貸借で対応できるもの約220冊を除籍した。このことで、レファレンス室の新聞縮刷版コーナーに余裕が生まれ、書庫資料にもスペースが生まれた。

■ 市政図書室の機能充実

- ・各課の発行する行政資料は、市の施策の形成過程を知る上で貴重な資料であり、今後さらに確実な納本（ペーパーレス資料については電子データの提供）をすすめていくために、まず職員に周知を図ることが前提と考え、6月に「今後の資料作成予定」の調査を実施した。あわせて庁内各課に、市政図書室の資料収集、保存などについてもPRした。調査の結果、28課より資料作成予定について回答があり、収集の参考とした。
- ・「地域・行政デジタル」（デジタルアーカイブ）の充実に向けて、各課の担当職員との間で、過去の電子データの有無等を確認し、3課より令和4年10月1日現在市ホームページに掲載されていない資料が提供された。

（2）市民に役立つ情報の提供

■ 情報コーナーの設置

令和4年度も市役所内関係部署の広報に協力した。在宅療養支援課と連携し、「わたしの思いをつなぐエンディングノート」の配布に協力した。あわせて、中央・高幡・多摩平・百草図書館で関連資料の展示・貸出も行った。

そのほかの各館の取り組みは以下の通り。

【日野図書館】

- ・「新選組に会えるまち日野」（日野市観光協会作成）の配布に協力した。図書館窓口では、施設・道案内に活用した。
- ・「多摩の歴史・文化・自然・現在を記録し発信するローカルマガジン」（帝京大学総合博物館ホームページより）、『ミコタマ』（帝京大学総合博物館発行）の市内図書館での配布に協力した。

【多摩平図書館】

- ・人目に付きやすい返却カウンターの向かい側にブックトラックを置き、市民に関心の高いテーマの資料展示・貸出、関連資料（関連部署作成のチラシ・パンフレット）の配布を行った。日

野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」によるビジネスプランコンテスト、SDGs等、近隣施設とのコラボレーションもあり、市民への情報提供にもつながった。

【平山図書館】

- ・地域や学校が発行する広報誌等を館内チラシコーナー等で配布し、地域の情報発信・情報提供に努めた。
- ・「ヤングコーナー」の館内表示を書架案内に追加した。

【百草図書館】

- ・三沢中地区アクションプラン会議関連団体のチラシやポスターを配布・掲示した。タウン紙「日野ニュース」で取り上げられた地域の方の活動を掲示板で紹介した。

■ パスファインダーの作成と配布

【日野図書館】

- ・『新選組を読む・調べるために（壱）（弐）』を100部発行し、市内の各図書館で配布した。また、ホームページに掲載した。

【多摩平図書館】

- ・多摩平団地に関するパスファインダーを作成するために、多摩平団地についての地域資料コーナーの資料を、記載されている内容の年代ごとにリストにまとめた。
- ・多摩平図書館所蔵のビジネス関連書について、新着図書案内を隔月で作成し、日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」内で配布した。

(3) 市民の図書館活動・運営への参加

■ 日野ヤングスタッフの活動への支援

※「主要事業3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業（4）青少年へのサービス」を参照

■ ボランティア活動への支援

※「主要事業4 障害者サービス事業」を参照

(4) 地域で活動する団体との連携

■ 日野宿発見隊の活動支援

※「主要事業2 第3次図書館基本計画推進事業」の日野図書館を参照

■ 本の魅力を発信する団体・サークルとの連携

- ・令和4年度も、「子どもの読書に関するボランティア懇談会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、地域で活動している団体とは継続して連携を図った。
- ・高幡図書館では、引き続き、地域の「かるがも文庫」に団体貸出を行い、必要とする資料の予約受付や、図書館で作成したリストの配布を行った。コロナ禍での文庫活動の様子について

て聞き取りをするなど、地域の子どもの読書活動推進のため、図書館と文庫との情報共有を行った。

- ・「日野おはなしの会」が学校で実施しているおはなし会に利用する資料の支援を行った。移動図書館では、「旭が丘地区センター」への巡回時におはなし会を行っているよみきかせボランティアグループ「絵本の公園」に引き続き資料提供を行った。また、読み聞かせに向く絵本の相談や手遊び、人形作成などおはなし会に役立つ情報共有を行った（おはなし会は6月8日（水）より再開）。
- ・「絵本読み聞かせ入門講座」を5月20日（金）多摩平の森ふれあい館、6月24日（金）高幡図書館で開催した。感染症拡大防止対策のため、定員を各10名までとし、読み聞かせの実演時間を短縮するなどしたが、キャンセル待ちが出るほどの申し込み状況だった。参加者からは、「読み聞かせの聞き手側の立場になるのがよい経験だった」「少人数でリラックスした雰囲気よかった」「読んで聞かせるコツを教えてもらって参考になった」などの感想をもらった。

■ 地域で活動する団体・サークルの活動支援

地域で活動する団体・サークルへの活動支援として、図書館の集会室を開放している。定期利用団体は、半期（4月～9月・10月～3月）ごとに申し込みをし、利用希望曜日・時間帯が重なった場合は、抽選によって決定する。令和3年度に引き続き、希望が重なっているところは図書館職員が抽選を行い、結果を申込団体にメール等でお知らせする方法で行った。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止と利用者からの要望によるもので、図書館と利用団体双方の負担が軽減できた。

令和4年度の利用実績は次のとおり。

	利用回数（カッコ内は前年度実績）
集会室（中央図書館）	319（339）
読書会室（高幡図書館）	274（239）
談話室（百草図書館）	205（175）

■ 企業・商店等との連携

毎年開催されている日野市商工会主催の「まちゼミ」に、ブックリストを作成することにより協力した。令和4年度は、32種類のブックリストを作成した。各ゼミの内容に沿った本を数冊紹介するこのリストと併せて、地域館に「まちゼミ」に関わる本を展示した。身近な場所で行われる「まちゼミ」ということもあり、多くの方が関心を持ち、本を手取る姿が見られた。作成したブックリストのタイトル（講座名）は以下のとおり。

親子で楽しもう！乳児からできるクッキング<スイートポテト>
プロ技直伝 ピカピカお掃除術
あなたの首にはアーチがありますか？
熟成ハナを体験！目指せ天使の輪！

クイズで覚えよう！マナーと着付け
ハロウィンリース作り
「日野の新選組」まことくん絵付け体験
誰にでもできるシール式の食器絵付け教室
自分だけの「誠」を染めてみよう！
タクシーのお仕事
売り上げに直結するPOPづくりの秘策！
初めての手話講座
新築・リノベで失敗しない収納の作り方
初心者のための「愛犬歯みがき教室」
起業を応援！一番かんたんなホームページの始め方
終活考えてみませんか・入棺体験
まちゼミで初めての職場体験しちゃおう！（接客編）
まちゼミで初めての職場体験しちゃおう！（製造編）
探検たみファクトリー！
あなたの家は大丈夫？空家になる家 ならない家
まちゼミって何？話だけ聞かせてーまちゼミの魅力と効果をお伝えします
はじめての『起業・副業』なんでも相談
外国人と気楽に話せる英語実用講座
あなたも YouTuber に！～マル得講座～
親御様のための「れいわの婚活座談会」
オンラインで話そう！！令和の婚活事情
はじめてのグラレコ
懐かしの「メンコ」で遊んでみよう！
初めての高幡不動のディープな商店街めぐり
失敗しない、パソコンの選び方
超簡単！免疫力を上げるセルフケア
子連れOK！骨盤体操教室

また、各地域館の取り組みは以下のとおり。

【高幡図書館・百草図書館】

- ・京王電鉄と企画経営課との連携事業「花咲かプロジェクト」に協力した（11月1日（火）～2月28日（火））。このプロジェクトは、見守りタグを持って設置場所を訪れるとポイントが貯まり、貯まったポイントは店舗で商品に交換できるというもので、高幡・百草地区の高齢者の健康促進と京王沿線の人の動きなどを見るため、図書館もポイント付与箇所となり、対応タブレット端末の設置依頼を受けた。

【日野図書館】

- ・日野宿発見隊主催のイベント「スタンプラリー in 日野宿 2022」の開催時、近隣の商店よりスタンプポイントとして店先の提供を受けたほか、スタンプポイントの受付業務に協力を得た（5月7日（土）開催）。
- ・日野宿発見隊主催のイベント「行灯をつくろう」（12月17日（土）開催）を実施した際に、交流のある近隣の商店に、参加者が作りやすいよう材料の加工の協力を得た。

【多摩平図書館】

- ・日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」との連携を本格的に開始し、「PlanT」内に図書館の本を置くコーナーを設置した（4月～8月は25冊ずつ、9月～3月は30冊ずつ設置）。本は1か月ごとに入れ替え、「PlanT」で行っているイベントに合わせた内容のものを用意した。
- ・「PlanT」との連携の一環として、ビジネスプランコンテストに関連した本の展示を多摩平図書館で行った。（8月16日（火）～9月16日（金））普段、「PlanT」を利用していない人にも、取り組みを知ってもらうことができた。

【平山図書館】

- ・地域につながる資料の展示（動植物、農業等）は、季節とともに紹介するよう努めた。例えば、初夏には平山季重ふれあい館にも巣を作る「燕の本」、夏には地域の農産物「トマトの本」、秋には川沿いや田畑で見かける「ヒガンバナの本」など、季節と地域を意識した展示を実施した。

【中央図書館】

- ・産業振興課後援事業のJR東日本主催「駅からハイキング」（10月8日（土）～10月23日（日））に合わせ、図書等の資料展示を行った。

（5）関係機関との連携

■ 学校図書館との連携

※「主要事業3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業（5）学校支援」を参照

■ 大学図書館との連携

- ・実践女子大学図書館との交流を継続し、更なる連携の強化を図った。
 - ・実践女子大学常磐祭で（11月12日（土）・13日（日））、大学図書館内に市立図書館の展示スペースをもらい、市立図書館のPR展示を行った（市立図書館の紹介・日野ヤングスタッフ活動報告・日野宿発見隊の活動報告等）。学園祭終了後も1か月間展示を行った。
 - ・13日（日）はひまわり号を出展した。貸出のほか、子どもたち向けの各種の工作やひま

わり号の運転席に座って写真を撮るなどの企画を行った。

- ・実践女子大学図書館との連絡会を大学図書館（日野）で年2回開催した（7月7日（木）、3月2日（木））。大学側からは渋谷キャンパスの教員も参加し、より広い情報共有を行うことができた。
- ・実践女子大学図書館学課程の学生による日野市立図書館PR動画作成に協力し、見学を受け入れた（9月12日（月））。
- ・館内で担当者会を行い、東京都立大学、明星大学などの他の大学図書館との連携にむけた検討を行った。
- ・市内大学の図書館が市民に開かれていることを、ポスター掲示、図書館ホームページ等で引き続きPRした。

■ 周辺施設との連携

【高幡図書館】

- ・新選組のふるさと歴史館、郷土資料館と協力・連携し、地域特性を生かした展示、資料の貸出を行った。地域の歴史等に触れたことで、来館者の興味関心も高く大変好評であった。
- ・転入間際や必要と思われる親子に、子ども家庭支援センター作成の「知っ得ハンドブック」を手渡ししたほか、高幡周辺の子育て関連施設情報を積極的に提供した。
- ・高幡不動尊等の広報誌や地図を収集・配布するほか、関連書籍を展示するなど、周辺施設の情報収集・発信を積極的に進めた。

【多摩平図書館】

- ・日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」における資料コーナーでの資料提供として月に一度資料の入替と該当リスト作成・配布を行った。
- ・多摩平の森ふれあい館内の施設の講座の講師として職員を派遣した。
 - ・4月21日（木） 子ども家庭支援センター多摩平「はぴはぴ」のミニ講座「絵本について」（職員派遣3名 参加者16名）
 - ・9月15日（木）（同日2回開催） 子ども家庭支援センター子育てサークル交流会での絵本の読み聞かせ（職員派遣4名 参加者91名）
 - ・10月5日（水） たまだいら児童館「プチすくすくクラブ」（職員派遣2名 参加者21名）
 - ・2月17日（金） 日野市ファミリー・サポート・センター養成講座「子どもと本を楽しむには！～図書館員による読み聞かせ講座」（職員派遣3名 参加者30名）
 - ・11月12日（土） 「ひのまなびのまつり」にて日野市立図書館PRの展示を行った。

【平山図書館】

- ・日野税務署からの依頼に応え、11月テーマ展示「税金とお金」を実施した（一般書・児童書38冊を展示）。あわせて税に関するパンフレット等を配布した。

【百草図書館】

- ・郷土資料館作成の七生地区関連資料を百草地域関連コーナーに設置。コーナーがきっかけとなって程久保川についての資料を求めている利用者に郷土資料館を案内した。

■ 周辺地域との連携

平成19年度より「京王線沿線7市図書館連携」を行っており、八王子市、府中市、調布市、町田市、多摩市、稲城市と相互に市民が利用できるよう協定を結んでいる。令和元年度に立川市、国立市とも協定を結び、相互に市民が利用できるようになった。利用状況は次のとおり。

七市連携の統計を毎月とりまとめ、年度ごとに更新するガイドブックを図書館ホームページにも掲載した。

【日野市民の他市図書館利用状況】

	登録者数（人）	貸出冊数（冊）
八王子市	111（97）	10,062（9,948）
府中市	64（90）	2,971（5,538）
調布市	38（34）	1,710（1,520）
町田市	3（7）	87（153）
多摩市	196（198）	27,921（27,006）
稲城市	28（24）	3,318（3,353）
立川市	282（213）	8,592（7,471）
国立市	24（18）	252（229）
合計	746（681）	54,913（55,218）

【他市市民の日野市立図書館利用状況】

	登録者数（人）	貸出冊数（冊）
八王子市	406（384）	48,172（46,614）
府中市	32（25）	1,358（1,192）
調布市	5（7）	69（34）
町田市	11（11）	816（663）
多摩市	33（61）	4,875（4,712）
稲城市	3（3）	294（261）
立川市	4（27）	97（1,018）
国立市	27（20）	512（459）
合計	521（538）	56,193（54,953）

※（ ）内は前年度実績

事業の課題と改善策

【課題】

- ・引き続き、電子データを含む地域・行政資料の収集・提供・保存。
- ・利用者や地域の特色を活かした展示の実施、情報発信。地域館で地域に関連するパスファインダーの作成。
- ・地域で活動する団体・サークルへの活動拠点の提供。
- ・企業や商店、関連団体との連携。

【改善策】

- ・引き続き、日野市、市内の機関・団体、在住者等が作成した資料、またこれらについて記載された図書、雑誌、パンフレット、チラシ等の地域・行政資料を積極的に収集し、提供していく。多摩平図書館では、多摩平団地コーナーの充実をはかるために、新刊だけでなく収集できていない既刊の資料の把握に努める。市政図書室では、紙資料の納本だけでなく、電子データの提供も呼びかけ、庁内での周知を図る。
- ・市各課や近隣施設と連携し、情報発信に取り組む。
- ・多摩平図書館では、日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」へ新着図書案内の配布を効果的な配布方法を検討しながら継続する。
- ・日野図書館では『新選組を読む・調べるために』を引き続き更新する。多摩平図書館では多摩平団地など、各地域館で地域に関連するパスファインダーの作成に取り組む。
- ・「子どもの読書に関するボランティア懇談会」を再開し、各団体の活動を把握し、市民に情報提供できるようにする。
- ・中央図書館・高幡図書館・百草図書館の集会施設を生涯学習に活用してもらうために、これら施設の利用を、広報等を活用して周知を図る。集会施設を定期利用する団体向けに、「定期利用抽選会」を年2回開催する。
- ・ブックリスト作成によるまちゼミへの協力を継続。また、まちゼミの開催を図書館内でテーマ展示を行ってPRを行うこと等で地元商店街との連携を図る。
- ・郷土資料館、日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」、子育て関連施設等との連携を継続する。

事業項目	2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります
事業の概要	
<p>本を通じて人と人とのつながりを創る取り組みを行う。</p> <p>(1) くつろげる「居場所」としての環境の充実</p> <p>(2) 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み</p> <p>(3) 移動図書館ひまわり号の活用</p>	
事業の成果	
<p>(1) くつろげる「居場所」としての環境の充実</p> <p>■ 設備の改善・充実</p> <p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、衛生的な環境の整備に注力した。消毒液や雑巾、使いきり手袋などの消耗品を各館に配置して感染拡大防止に努めた。</p> <p>■ ニーズに応じた多様なスペースの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館、持込パソコンを利用するための電源席の利用が定着してきた。在宅ワークができる環境を求めている人が増えての利用増かと考えられる。 ・多摩平図書館では、テーマ展示を展示用の書架だけでなく、ブックトラックや窓際のスペースを利用してヤング向け、児童向けの展示をするなど、いくつかのテーマ展示を場所・対象を変えて同時進行で実施した。 <p>(2) 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み</p> <p>■ おすすめ本の紹介</p> <p>夏休みジュニアスタッフに、ポップを作成してもらった（実施館 中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草）。作成したポップと、ポップで紹介された本と一緒に展示したところ、同世代だけでなく、大人にも利用された。</p> <p>そのほかの各館の取り組みは以下の通り。</p> <p>【高幡図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕にあわせて、折り紙の短冊に、願い事や好きなことを書いてもらう企画を行った（6月23日（木）～7月7日（木））。 ・利用者から「去年やった様なおすすめ本を書く展示はないか？」と問い合わせがあったため、秋の季節に、折り紙でできたカエデとイチヨウの葉に、おすすめ本を書いてもらう企画を行った（10月1日（土）～11月30日（水））。 ・新年にあわせて、うさぎ（干支）の折り紙におすすめ本を書いてもらう企画を行った（12月25日（日）～1月31日（火））。 ・「たかはたブッククラブ」12月企画として、小学生のおすすめ本を参加者同士で紹介しあった。ブッククラブ終了後、紹介した本とその一覧を児童室に展示した。 ・「たかはたブッククラブ」3月企画で、小学生に好きな本をアンケートに記入してもらった。 	

ブッククラブ終了後、記入してもらった本とその一覧を児童室に展示した。

【多摩平図書館】

- ・秋の読書週間（10月27日（木）～11月9日（水））に合わせ、「おしえて！おすすめの本」と題した展示を行った。児童（幼児～小学生）に向けて、自分が好きな本のタイトルとおすすめポイントを記入する専用用紙を窓口で配布した。募集期間は上記期間とし、読書週間後の11月10日（木）～12月28日（水）まで、集めた用紙を貼り付けたポスターと本と一緒に並べて展示した。反響は大きく、展示用ブックトラックにならべた本がすぐ貸出に出てしまい、なくなってしまう状態であった。「掲示したポスターの写真を撮りたい」という方もいた。

【百草図書館】

- ・児童室掲示板にポスターを作り、子どもたちの好きな本のタイトルを自由に書いて貼ってもらった。1階ギャラリーに掲示し多くの方の目に触れるようにした。親子で書いたものを貼ってくれたり、『自分も書きたい！』と自分が読んだ本をアピールしたいという子どもが続出し、用紙を追加したりといったこともあった。
- ・令和2年度から行っている企画で好評の、利用者や職員がおすすめの一文を抜き出して袋に入れ、中身がわからないようにして貸し出す「図書館本X」を今年度も実施した。10月から12月まで、21冊を配架した（令和3年度は19冊）。「このコーナーはとてもいい。本を選ぶのが下手なのでコメントを読むととても参考になるし楽しい。」との声をもらった。

■ 各種イベントの拡充

連続講座「はじまりの読書会」（全5回）を実施した。

- 1回目 10月20日（木） 『字のない葉書』／『ごほん』 向田邦子／著
- 2回目 11月17日（木） 『地獄変』 芥川龍之介／著
- 3回目 12月15日（木） 『さがしもの』 角田光代／著
- 4回目 1月19日（木） 『愛されすぎた白鳥』 小川洋子／著
- 5回目 2月16日（木） 『檸檬』 梶井基次郎／著

会場：高幡図書館 11名参加（応募者12名 抽選で参加者を決定）

講師：青木祥子氏

令和4年度のこの連続講座「はじまりの読書会」の参加者から、高幡図書館読書会室を利用した市民の読書会サークルが2グループ結成された。5年間で5グループの読書会サークルが結成され自主的に活動している。

(3) 移動図書館ひまわり号の活用

■ 移動図書館ひまわり号による「つながり」を創る取組

※「主要事業2 第3次図書館基本計画推進事業 移動図書館ひまわり号」を参照

事業の課題と改善策

【課題】

- ・電源席をはじめとする閲覧席増加の要望。
- ・利用者がおすすめ本を紹介できる各館の取り組みの継続。
- ・各種イベントの実施。

【改善策】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が落ち着いた場合、減らしていた閲覧席を戻すことを検討する。
- ・多摩平図書館の読書週間の展示企画は募集対象を児童のみに限定したが、今回は成人向けで同様の企画を検討する。また、利用者から「他の人がどのような本をおすすめしているのか知りたい」と、ポスターの写真撮影の要望もあったため、挙げていただいた本を一覧リストとして利用者向けに配布できるようにする。
- ・百草図書館ではポップの作成を、ジュニアスタッフや三沢中ちょこっとボランティア参加の生徒、おはなし会に参加した小学生に拡大し、掲示する。大人向けの福袋・テーマ袋の企画を実施する。
- ・連続講座「はじまりの読書会」全5回連続講座を開催する。令和5年度途中から講師が交代するため、スムーズに交代できるよう関係者へ配慮する。読書会に参加できなかった方のために関連した資料の展示等で活動を紹介する。

事業項目	3 市民の読書活動を推進します
事業の概要	本と出あい、本と親しむ機会を創る取り組みを行う。 (1) 本と出あうきっかけづくりの拡充 (2) 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み
事業の成果	(1) 本と出あうきっかけづくりの拡充 <ul style="list-style-type: none"> ■ ポップ、ポスター展示、図書館報「ひろば」等による本の紹介 <p>図書館報「ひろば」を毎月発行し、図書館で購入した新刊本や図書館員おすすめ本の紹介をした。図書館ホームページでも、「図書館員の本箱」のページで紹介した。</p> <p>そのほかの各館の取り組みは以下の通り。</p> <p>【高幡図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みジュニアスタッフ2名に、おすすめ本のポップを作ってもらい、本と一緒に児童室に展示した。もともと予約が多い本ということもあり、書架にその本が長い期間なかった。 ・小学校の教員（教科：家庭科）の職員研修を受け入れ、その際、「食育」をテーマにおすすめの本を集めてもらい、あわせて手作りのポスターと本の展示を行った（9月）。 ・「たかはたブッククラブ」の12月と3月の企画で、「小学生の好きな本一覧」を児童室に掲示した。 <p>【日野図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本の福袋」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ※「主要事業2 第3次図書館基本計画推進事業 日野図書館の取り組み」を参照 <p>【多摩平図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職場体験を2校4名受け入れた（日野第四中学校・大坂上中学校）。それぞれの生徒におすすめの本を数冊選んでもらい、本の紹介文付きのポップを作成してもらった。職場体験終了後、本と一緒に1か月程度館内に展示した。手書きのポップは利用者の目を惹き、シリーズ物がまとめて借りられることが多かった。 ・こどもの読書週間（4月23日（土）～5月12日（木））の時期に合わせ、図書館で令和4年3月に作成した幼年向けリスト「どんなほんがすき？よんでみよう！」に掲載された本を集めて、リストとともに展示した。 <p>【平山図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館報「ひろば」に、職員が寄稿している「図書館員の本箱」の記事を拡大し、館内に掲示した。 ・「この資料はどういったような内容なのか」等、貸出を後押しするようなコピーを付し、展

示棚で紹介した。

- ・「中学生と作家の交流事業」で、中学生の実行委員が講演会講師の作品をイラスト付きで紹介するポップを制作した。ヤングコーナーの近くに展示して、講演会の機運を盛り上げた。
- ・日野ヤングスタッフ選書による巡回企画を2回実施した。（「主要事業3（4）青少年へのサービス」参照） ヤングスタッフの選書に利用者の関心が集まり、貸出に結び付けることができた。

【百草図書館】

- ・ジュニアスタッフの小学生（参加者1名）のおすすめの本をポップとともに展示した。ジュニアスタッフ事業が終了した8月初めから9月までの2か月間、1タイトルを毎月の展示スペース隣に展示した。本人が友達と展示を見に来たり、大人の方が借りていく姿が見られた。よく貸し出され、棚にないことが多かった。

■ テーマ展示の実施

各館で、毎月テーマを決めて資料の展示をした。テーマ展示の内容や展示している資料のリストを図書館ホームページで公開している。

各館で実施したテーマ展示は、以下の通り。

【中央図書館（1階開架室）】

4月	【SDGs】SDGs	10月	芸術の秋・イラストに挑戦
5月	自然とふれあおう	11月	【子育て支援】【児童虐待防止】 児童虐待防止
6月	フレイル予防	12月	全ての人に本を
7月	【環境】プラスチックごみの減量	1月	書評に載った本（2022年9月～11月）
8月	【平和】戦火が変わる、人々の暮らし	2月	あま〜い（！？）本
9月	【世界自殺予防デー&自殺予防週間】 逃げ出したくなったら	3月	【自殺対策】自殺予防強化月間

- ・1月の「書評に載った本」では、令和4年9月から11月の新聞の書評欄に掲載された本の展示をした。内容が多少難解なものや、高額な図書も多く、書架にならんでいると目立たないが、展示をすることで利用が増えた。
- ・7月の『【環境】プラスチックごみの減量』では、ごみゼロ推進課が作成したパネルやPR動画を展示し、缶バッジの提供を受けてクイズの参加賞として配布した。

【中央図書館（2階レファレンス室）】

4月	ちょっと昔の日野	10月	日野の人物
5月	日野と新選組	11月	多摩の文学
6月	多摩の植物	12月	多摩の方言
7月	日野の農業	1月	多摩の信仰
8月	戦時下の東京	2月	多摩の交通
9月	多摩の寺社	3月	日野の遺跡

【高幡図書館】

4月	蟹江杏 ^{かにえあんず} さん作品展示 (市内在住のイラスト作家)	10月	【SDGs】SDGs（持続可能な開発目標）とは？ ／まちゼミ2022
5月	気ままに散歩	11月	図って測って量ってみたら ／まちゼミ2022
6月	年を重ね、より美しく	12月	玉南鉄道（現：京王線）と高幡門前町
7月	冒険の夏 探検の夏	1月	和の世界
8月	【平和】平和って何だろう？	2月	【環境】今までとこれから
9月	【認知症】認知症を知る月間	3月	【自殺防止】ひとりで悩まないで

【日野図書館】

4月	はじまりの詩	10月	【環境】いきものの姿
5月	自転車に乗って／日野市関係者による新選組関係資料の展示	11月	踊りの世界と世界のおどり
6月	追悼 矢島稔 虫の世界に生きて	12月	時を旅する
7月	【SDGs】フィンランド	1月	こころとからだ
8月	【平和】あのころの多摩は…	2月	庭園
9月	【認知症】認知症についてご理解を	3月	人形に魅せられて…

【多摩平図書館】

4月	お手紙	10月	図書館／まちゼミ2022
5月	【環境】身近なことから始めるエコ ／蟹江杏さん著作集	11月	【子育て支援】【児童虐待防止】 ／まちゼミ2022
6月	食育202206	12月	日野市／クリスマス・お正月
7月	いろいろな石／自分らしい暮らし を続けたい	1月	笑う門には福来る／【SDGs】 「陸の豊かさも守ろう」
8月	【平和】戦争の記憶、平和への願い ／PlanTビジコン展示	2月	SWEETS
9月	散歩のすすめ	3月	酷道！国道！

- ・児童を対象とした展示では、双方向のコミュニケーション型のテーマ展示「おしえておすすめのほん」を実施した。10月～11月の読書週間の期間に、児童を対象におすすめの本を所定の紙に書いてもらい、読書週間後に書かれた本を集めて展示した。大変好評で、児童向けだけでなく一般向けのものもやってほしいという要望もあった。
- ・展示用の書架だけでなく、ブックトラックを利用したテーマ展示や窓際のスペースを利用したヤング向け、児童向けの展示など、いくつかのテーマ展示を場所・対象を変えて同時進行で実施することができた。

【平山図書館】

4月	自然に親しむ	10月	【子育て支援】／追悼・神坂次郎氏 ／追悼・宮沢章夫氏／元気なおばあ さんたち
5月	日本人作家のデビュー作品	11月	税金とお金／将棋小説とその周辺
6月	SDGs／神戸連続児童殺傷 事件から25年を、読む	12月	【環境】ストップ！地球温暖化／覚 悟！忠臣蔵！／平山図書館的R. I.P 2022／未解決事件
7月	家族も作家／投票に行く前に 「選挙」を、読む／ムラサキシ キブを、読む／政治家とテロリ ズムを、読む	1月	人生相談／ぼんやり家康
8月	【平和】考えよう！平和／「シ ゴの世界はある」を、読む／ 特定の、ってワケじゃないんで すよ／追悼・近藤誠氏	2月	100年前／50年前／小説のお 医者さん／追悼・永井路子氏
9月	作家の名前のつく文学賞受賞 作品／9月は防災月間／【認知 症】9月は認知症を知る月間	3月	【自殺防止】いのち／卒業、旅立ち ／追悼・大江健三郎氏

- ・機動性を発揮し、時事を捉え、季節を先取る展示内容を意識した。
- ・高齢者に寄り添う内容のテーマでは、貸出が多かった。
- ・興味を引くような紹介文（コピー）を付した資料を2週間程度展示し、貸出を増やすことができた（年間約100タイトル）。

【百草図書館】

4月	おさかな、釣り	10月	秋は魔法のにおい
5月	人生の「締めくくり」を考える	11月	【児童虐待防止】指導虐待0を目指して
6月	【子育て支援】特にお父さんのための	12月	おうち時間を楽しもう
7月	車・運転	1月	【環境】エコな暮らし
8月	【平和】平和への思い	2月	百草図書館スタッフからのおすすめ
9月	はじめてのSDGs	3月	【自殺防止】ほっとひと息

- ・2月に行った「百草図書館スタッフからのおすすめ」展示が好評だった。「この本は自分も好きだ」という感想や「個性が出ていておもしろい」という反応があった。正規職員だけでなく、会計年度任用職員も含めた職員全員からのおすすめ本がバラエティに富んだ展示となり、貸出回数も多かった。

※ 市役所内の関係部署と連携したテーマについて

郷土資料館・ふるさと文化財課 12月高幡

環境保全課（ひのエコ）「環境」について

5月多摩平 7月中央 10月日野 12月平山 1月百草 2月高幡

健康課 「食育」について 6月多摩平

高齢福祉課 「認知症」について 9月高幡・日野・平山

在宅療養支援課 「エンディングノート」について 5月百草 6月中央 7月多摩平

子ども家庭支援センター「子育て支援」6月百草 10月平山 11月多摩平

「児童虐待防止」 11月多摩平・百草

セーフティーネットコールセンター 「自殺防止」9月中央 3月高幡・平山・百草

平和と人権課 「平和」について 8月全館

※ 市役所外の部署と連携したテーマ

日野税務署 11月平山

PlanT 8月多摩平

まちゼミ（日野市商工会）10～11月高幡・多摩平・百草

(2) 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み

■ 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進

※ 「主要事業3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(1)～(5)」を参照

■ 子どもが利用しやすい環境整備

各館の児童室について、季節に合った本の展示や飾りつけをするなど、子どもが楽しめる空間づくりに取り組んだ。

また、全館で、お正月の開館日にあわせて、「本の福袋」を乳幼児向けに実施した。

(「主要事業3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(2) 乳幼児へのサービス」参照)

各館の取り組みは以下の通り。

【中央図書館】

- ・季節に合わせた児童書を様々なジャンルから集めて展示した。また、新たにミニ展示コーナーを作り、シリーズ物の絵本を主人公の紹介ポップとともに展示した。目につきやすい場所に設置したこともあり、展示した本は常に貸し出されている状態だった。

【高幡図書館】

- ・児童室の壁面に、季節に合わせたポスターを掲示した。
- ・時季や行事に合わせたミニテーマ展示を16回実施した(テーマは、恐竜、梅雨、子ども読書週間、夏、自由研究、食育、ハロウィン、秋、山脇百合子追悼、クリスマス、冬、バレンタイン、春)。
- ・子どもたちが、自分の好きな本や好きなことを発信できる企画を3回実施し、児童室の壁面に掲示した(テーマは、七夕の短冊、秋の落ち葉、干支のうさぎ)。

【日野図書館】

- ・「らくご絵本」(川端誠/作)のような、シリーズで刊行されている絵本について、約20～30のシリーズを絵本架から取り出し、手に取りやすい場所に配架した。他の絵本と同じ場所にあった時より目につくようになったためか、貸出が増えた。

【多摩平図書館】

- ・おはなし会の最後に新着資料を紹介することで、興味をもって借りられる機会が増えた。また、おはなし会で読んだ本や作った工作の作品を、おはなし会終了後に館内に展示した。
- ・夏休み期間中(7月20日(水)～8月31日(水))、「宿題お助けコーナー」と題し、自由研究に役立つような本や読書感想文におすすめの本を選び、展示した。展示期間中は、宿題の題材に困った児童や保護者に案内する機会が多く、非常に需要があるテーマであることが分かった。
- ・多摩平図書館で所蔵している紙芝居リストを作成し、利用者も閲覧できるよう紙芝居

コーナーにリストを設置した。年中行事の時期などは、窓口での問い合わせが増えるため、職員にとっても役立っている。

【平山図書館】

- ・季節に合わせて、絵本コーナーの壁面に折り紙等で飾りつけをした（年6回実施）。
- ・児童室の「季節の本」の展示コーナーには、絵本、自然、年中行事等の児童書を展示した。
- ・児童室の夏休み企画として、「おさかなDEしょうかい」コーナーを設置した。さかなの形の用紙を用意して、自由に色など塗ってもらい、おすすめの本を書いてもらった（7月15日（金）～9月15日（木）実施 43枚集まった）。

【百草図書館】

- ・季節のイベントに合わせて、児童室に子どもがおすすめの本を書いてもらうポスターの掲示「まっかな秋」と絵本の配架を行った。子どもたちが本を手に取りやすくなるよう努めた。
- ・乳幼児向けとは別に、3歳から5歳の子ども向けに、テーマごとのおすすめ絵本を詰めた絵本パックを11セット用意した（テーマは、恐竜、のりもの、たべもの、ほん、いぬ、おばけ、ことばあそび、ねこ、スイーツ、わらう）。
- ・児童室で行った企画で、子どもたちに自由に好きな本を書いて貼ってもらったり、絵を描いたり切り抜いた紙を貼って製作したポスター（図書館の庭、はらぺこあおむし、スイミーなど）を、図書館1階ギャラリーを活用して展示した。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・各館でのテーマ展示の継続。
- ・子どもが楽しんで図書館を利用できるよう、各館での取り組みの継続。
- ・図書館ホームページ「こどもページ」の更新。

【改善策】

- ・引き続き図書館報「ひろば」を中心に、図書館ホームページをはじめとした様々な媒体を使って情報を届けていく。図書館ホームページの「こどものページ」の更新にも努める。
- ・本と出あうきっかけづくりを拡充するために、各地域館で以下の取り組みを行う。

【中央図書館】

引き続き職場体験、教員研修生や大学生の図書館実習生におすすめ本の紹介とともにポップを作成してもらう。

【高幡図書館】

「たかはたブッククラブ」で、小学生の好きな本・おすすめ本を紹介してもらい、それを掲示する。

【日野図書館】

「本の福袋」は、日野図書館に来館した方のみの目に留まる企画だったので、図書館ホームページで広報することを検討する。

【多摩平図書館】

職場体験の仕事の1つとして、今後も引き続きおすすめ本の紹介やポップづくりに参加してもらおう。また時間に余裕があれば、ポップだけでなく展示ポスターの作成もお願いしたい。

毎月のテーマ展示の本のリストは、図書館のホームページでも閲覧可能であることを館内掲示等で発信していく。

引き続き、ひと月にワンテーマではなく、同時進行でいくつかのテーマ展示を実施していく。また、要望のあった双方向型のテーマ展示を一般向けにも実施する。

【平山図書館】

児童だけではなく、一般書のおすすめの本についても、利用者参加型の企画を検討していく。

【百草図書館】

百草図書館談話室での単発読書会等のイベントを支援し、PRする。

事業項目	4 すべての市民に図書館サービスを提供します
事業の概要	
<p>知っている・使える図書館づくりを目指す取り組みを行う。</p> <p>(1) 図書館サービスのていねいな説明</p> <p>(2) 利用につながる図書館情報の発信</p> <p>(3) 移動図書館ひまわり号によるサービスの充実</p> <p>(4) 多様な利用者へのサービスの拡充</p>	
事業の成果	
<p>(1) 図書館サービスのていねいな説明</p> <p>■ 図書館サービスのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館報「ひろば」を発行した。(月1回・年12回、約15,000部) ・「広報ひの」に、毎月のおはなし会のスケジュール、各種イベントを掲載した。また、日野市教育広報「ひのっ子きょういく」にも図書館の子どもに対する取り組みの紹介記事を掲載した。 ・日野市立図書館のホームページのアクセス数は、730,809件だった(ただし、これはトップページのアクセス数で、各ページの数はいずれも計測していない)。 <p>■ 利用案内の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用案内は、移動図書館ひまわり号のサービスポイント案内図の微修正などを行って常に最新の情報を掲載したものを発行した。日野市に転入手続きを行う際に、市民窓口課の窓口で配布している。 <p>(2) 利用につながる図書館情報の発信</p> <p>■ 未利用者向けチラシの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次日野市立図書館基本計画の策定にあたり、利用者の利用実態やニーズの把握、及び、未利用者の意見を聴取することで、計画策定の基礎資料とするために、アンケート調査を実施した(令和4(2022)年4月1日(金)～5月8日(日))。特に、未利用者の意見を収集するために、図書館窓口で調査用紙を配布するだけでなく、図書館ホームページにリンクを記載して専用Webページにて回答できるようにし、インターネットを使った広報を前回(平成29年)調査より強化した。これにより未利用者からの回答を前回の3票から107票へと大幅に増加させることができた。今回の取り組みは、今後の未利用者へのアプローチの方法や未利用者の利用につながる取組内容の検討の材料となる。 ・現行の利用案内等を見直し、地図などの修正を行った。 <p>■ 様々な媒体を活用した広報・周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生と作家の交流事業では、「汐見夏衛さん講演会」を実施するにあたって、プレスリリースを行った。 ・令和4年12月の図書館システムの一部がランサムウェアに感染した重大事故についてもプレ 	

スリリースを行った。

・第4次日野市立図書館基本計画の策定にあたり、以下の方法でアンケート調査を周知した。

- ① 図書館ホームページでのお知らせ欄に「アンケート実施中」を目立たせるようにした。
- ② 各館窓口で調査用紙を配布・回収した。調査用紙には二次元コードを記載し、専用Webページにて回答することも可能とした。
- ③ 図書館の窓口だけでなく、カワセミハウス、日野市多摩平の森産業連携センター「Plant」にも、二次元コード記載の調査用紙と回収箱を置かせてもらい、配布・回収を行った。
- ④ 二次元コードを記載したチラシを図書館以外の市内24施設でも配布し、ふだん図書館を利用しない人の目にとまるように工夫した（七生支所、豊田駅連絡所、中央公民館・郷土資料館等の社会教育施設、児童館・子ども家庭支援センターなどの子どもやその保護者などが集まる施設、日野市民会館・七生公会堂・市民の森ふれあいセンター・南平体育館などの文化施設など）。
- ⑤ 市内の約240自治会の回覧板にて、二次元コードを記載したチラシの回覧を依頼した。
- ⑥ インターネットを使ったPRを前回調査より強化した。日野市のLINEに二次元コード、URL入りのメッセージ、チラシの画像を掲載して通知した。

(3) 移動図書館ひまわり号によるサービスの充実

■ 個人・団体貸出の実施

※「主要事業2 第3次図書館基本計画推進事業 移動図書館ひまわり号」を参照

■ 運営方法の検討

個人貸出巡回先（21か所）の実利用者数を把握するため、新たな巡回集計表を作成した。担当者では実利用者数を参考に見直し検討を進めた。（継続）

団体貸出についても、予約・リクエストサービスの受付などサービス内容の拡充を検討した。

■ 新システム導入によるサービスの拡充

・長時間駐車するサービスポイント（旭が丘地区センターと石田環境プラザ）では、オンライン用ノートパソコンを資料検索や利用者検索などに活用することで正確な情報提供と迅速なサービスを提供することができた。しかし、駐車時間が短いサービスポイントでは、起動に時間がかかり、通信環境が不安定なため、使用しなかった。

・団体貸出時はできる限りノートパソコンを常備させたが、個人貸出と同様に起動に時間がかかり、操作中に通信がフリーズするなど通信環境が不安定な場所が多いため活用できなかった。

・オンライン用ノートパソコンを活用した運用方法の検討を引き続き行った。

・次期システム更改に向けて個人貸出および団体貸出の全サービスポイントでのオンライン運用について検討を進めた。

(4) 多様な利用者へのサービスの拡充

■ 図書館の利用に障害がある方へのサービス

※「主要事業4 障害者サービス事業」を参照

※「第3次日野市立図書館基本計画の取組 1-(3) 市民の図書館活動・運営への参加」を参照

■ 高齢者へのサービス

高齢者などの弱視者向けの大活字本を、全館で69タイトル、計208冊を新たに収集した。また、地域館間で融通しあって、大活字本を全館で充実させた。

各館の取り組みは以下の通り。

【高幡図書館】

- ・高齢者、弱視者等向けの「大活字本」の充実を行うとともに、配架の場所についても、館の出入口、カウンターに近い場所など案内しやすく、手に取りやすい場所にした。
- ・介護・介護予防に関する本、認知症に関する本、フレイル予防、ソーシャルネットワーク関連のわかりやすい入門書等の高齢者向けの本を意識して収集した。
- ・各月のテーマ展示の際に、高齢者にも興味を持ちやすいテーマで、展示を行った。
(9月「認知症を知る月間」12月「玉南鉄道(現：京王線)と高幡門前町」)

【多摩平図書館】

- ・大活字本や拡大写本(一般の印刷文字が小さすぎて判読できない弱視者や高齢者のために、文字を拡大した図書)を積極的に収集した。(41タイトル/160冊)
- ・スマートフォンやパソコンの操作方法の実用書、終活などに関する資料、医療に関する資料など高齢者のニーズが多い資料を新しいものに更新した。

【平山図書館】

- ・貸出窓口のカウンターマットに高齢の利用者から寄贈された絵手紙等の作品を展示した。ほかの利用者にも好評だった。
- ・介護に関する資料は、学問的研究を目的とした資料より、介護を必要とする本人や家族の、暮らしのヒントや心構えに関する資料を選書するよう心がけた。

【百草図書館】

- ・高齢者向け紙芝居を5点購入した。幼児向けの紙芝居と区別するため、緑の取っ手のついたケースに入れて装備し、提供した。紙芝居と舞台の定期利用がある近隣の高齢者施設に紹介し提供した。

【中央図書館】

- ・高齢者向けサービスの一環として、「初心者スマホ個別講習会～スマホで蔵書の検索/予約をしてみよう～」を実施した。(令和5年2月2日(木))当日は5名の参加があり、中央公民館

スマホお助け隊の8名のメンバーが講師となって講座を開催した。講座の中では、スマートフォンの基本的な操作方法の他に、参加者全員の仮パスワードを発行し、実際に本登録（自分のパスワードを設定する）を行い、図書館ホームページの資料検索や予約のやり方を教え、参加者に実践してもらった。おおむね好評で、翌日には「昨日習ったことがわからなくなった」と中央図書館のカウンターに質問に来た方もいた。

■ 外国人へのサービス

【高幡図書館】

- ・日本語を初めて学ぶ外国人のための資料を3冊購入した。また、日本語初学者の資料要求にこたえるため、次年度（令和5年度）の高幡図書館新規購入雑誌として、「ひらがなタイムス」を選定した。
- ・成人向け外国語資料2点（英語）、児童向け外国語資料9点（韓国語4点・中国語5点）を収集した。

【日野図書館】

- ・日野宿発見隊が、日野市国際交流協会や東京日野国際学院に、「スタンプラリー in 日野宿 2023」（令和5年5月13日（土））への協力を呼びかけ、スタッフとして参加してもらうことになった。また、日野市国際交流協会と共催でまち歩き会を実施し、日野宿発見隊から、外国人の方々に日野宿の魅力を伝え、交流を深めた（令和5年3月25日（土））。日野市国際交流協会からは日本人スタッフも併せて19名の参加があった。

【多摩平図書館】

- ・児童外国語資料（絵本）を5冊購入した。人気のある日本語の絵本で外国語に訳したものを多種類の言語で収集する方針のもと、まずは中国語の絵本を収集し提供した。また、乳幼児向けに外国語が学べる本を取り入れてほしいとの要望があり、乳幼児向けの英語併記の絵本を6冊収集、提供した。

【平山図書館】

- ・日本語を学ぶ資料を求めて来館した方には、教科書や児童書のことばに関する資料等を案内した。
- ・外国の方のリクエストに応じて、日本の生活様式について解説した資料を案内した（おせち料理／茶の湯／年中行事／作法 ほか）。

【百草図書館】

- ・自館にある日本語と英語の両方が書かれた絵本を25冊展示し、英文併記絵本コーナーを設けた。貸出回数が昨年度より約2倍になった。タイトルによっては令和3年度には1回のみの貸出回数だったものが展示後1年間で12回になったものもあった。また児童室の外国語絵本コーナーの案内も行い、英語絵本のニーズがあることがわかった。

【中央図書館】

- ・団体貸出で、学童クラブに在籍する外国籍の児童に、母国語の絵本の貸出を行った。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・図書館の取り組みの周知。特に、多くの市民に行き届くような広報の工夫。
- ・図書館ホームページの構成のブラッシュアップや、魅力的なコンテンツの追加・更新。
- ・高齢者、外国人へのサービスの充実。外国にルーツのある方々のニーズの把握。H I F A（日野国際交流協会）、日野国際友好クラブなどの市内団体との協力。

【改善策】

- ・館報「ひろば」、図書館ホームページを中心に、庁内掲示板や市のホームページ、市の広報、プレスリリース、デジタルサイネージ等を利用し、積極的に図書館のPRをしていく。
- ・高齢者向け紙芝居や大活字本の充実に引き続き取り組むと同時に、それらのPRを行う。タイトルの更新や所蔵がよくわかるよう、展示などを行う。
- ・平山図書館「闘病記コーナー」では、がんなどの病気の解説や予防についての資料に加え、高齢者問題をはじめ、相続、成年後見人等の資料も充実させていく。
- ・外国語資料の収集は、英語以外には中国語、韓国語資料の収集に取り組んできたが、そのほかのアジア系言語の資料や、要望のあった言語の資料についても、検討する。また、日本語を母語とする方からの外国語資料の要望も多く、必要な資料を見極め、検討していく。

事業項目	5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します
事業の概要	
<p>図書館サービスの基本として次の取り組みを行う。</p> <p>(1) 資料・情報の収集</p> <p>(2) 資料の保存</p> <p>(3) 資料・情報の提供体制の充実</p> <p>(4) 読書案内・レファレンスサービスの充実</p>	
事業の成果	
<p>(1) 資料・情報の収集</p> <p>■ 蔵書の充実</p> <p>日野市立図書館資料収集方針第9条に定める資料別選定基準として、「日野市立図書館資料選定基準」を令和2年度に制定し、ホームページ上で公開している。令和3～4年度は内容等についての変更は行わなかった。</p> <p>令和4年度に受け入れた冊数は、29,390冊（令和3年度：32,894冊）</p> <p>■ オンラインデータベースの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館報「ひろば」令和5年3月号に掲載した「レファレンス室だより」第19回で、オンラインデータベースを取り上げ、具体的な事例とともに紹介した。 ・ 令和4年度の利用回数は、ランサムウェア感染の影響によるサービス停止期間（12月17日（土）～1月24日（火））もあり、令和3年度より減少した。 <p>利用回数は、次の通り</p> <p>新聞（ヨミダス歴史館、朝日新聞クロスサーチ、日経テレコン21、毎索）… 77回（88回）</p> <p>法規判例（D1-Law、TKCローライブラリー）… 10回（11回）</p> <p>官報情報 … 37回（52回）</p> <p>国立国会図書館デジタルコレクション・歴史的音源 … 25回（78回）</p> <p>音楽配信（ナクソス・ミュージック・ライブラリー）… 利用回数 2,005回（1,826回）</p> <p style="text-align: right;">ID配布数 218（179）</p> <p style="text-align: right;">※（ ）内は令和3年度の数値</p> <p>■ 電子書籍の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民ニーズの把握のため、第4次図書館基本計画策定に向けてのアンケートで電子書籍の貸出について質問した。「今後、力を入れて取り組んでほしいものはどれですか」との問いに、図書館利用者では1位の「紙の本や雑誌を増やす」（46.8%）に次いで、「電子書籍の貸出」は2位で17.7%だった。図書館未利用者では、「電子書籍の貸出」は1位で27.1%だった。 ・ 令和4年度に入り、多摩地域のいくつかの自治体の図書館が電子図書館の新規導入やサービス追加などの事例で新聞やWeb記事で紹介されている等、注目度が高まってきているため、電子書籍の導入について、電算委員会や、職員ワークショップなどでも議論した。実 	

務上の問題点や業務の段取りなどを調査し、導入については次期システム更改も視野に入れて検討していくことになった。

(2) 資料の保存

■ 資料の保存、除籍

- ・ 書架整理を行い、書架スペースに適合するよう資料の除架を行い、利用しやすくした。(年間除籍冊数 38,746 冊)。
- ・ 市関係部署にリサイクル資料を頒布する旨を周知し、希望があった部署に頒布した。除籍資料の有効活用を推進できた(小学校・児童館等)。

【配布数】

配布先	施設数等	配付数(冊)
児童施設	3 (7)	129 (65)
小中学校	不明 (0)	不明 (0)
市他部署	1 (8)	8 (280)
その他	2 (2)	122 (75)
合計	6 (17)	259 (420)

※ () 内数字は令和3年度の実績

※ 小中学校が不明となっているのは、ランサムウェア感染の影響のため。

- ・ 各館で市民向けに毎月10日・20日・30日に除籍資料をリサイクル資料として市民に配布し、市民に活用してもらうことができた。
- ・ 令和3年度に延期された「ひらやまえんにち」は令和4年6月に開催され、除籍した絵本など子ども向けの本をリサイクル資料として配布した。
- ・ 令和5年1月に開催された「多摩平の森ふれあい館まつり」で、除籍した絵本など子ども向けの本と保存年限が過ぎた雑誌をリサイクル資料として配布した。

【配布数】

	配布数(冊)
市民向け配布	25,102 (28,080)
ひらやまえんにち	385 (—)
多摩平の森ふれあい館まつり	1,574 (1,038) うち児童書 665 雑誌 909
合計	27,061 (29,118)

※ () 内は令和3年度の実績

(3) 資料・情報の提供体制の充実

■ ニーズにすばやく対応できる貸出体制の充実

- ・ 相互貸借の依頼について、ファクシミリ送信から Web 予約への移行をすすめた。
他自治体から日野市への依頼…Web 予約未実施の11区のうち、10区について移行
日野市から他自治体への依頼…Web 予約未実施の8区1市のうち、6区について移行
- ・ 相互貸借による借用資料について、貸出前の汚破損チェックを簡略化させる準備をした。

日野市から他自治体へ資料を貸出す前に、資料の汚破損状況確認を行っている。東京都市町村立図書館長協議会協力担当者会にて、借用に係わる汚破損の責任は、基本的に借り受ける自治体を負うとの共通認識がとれた。日野市で実施している貸出前の汚破損チェック作業について簡略化するにあたり、汚破損状況の確認・記録をする際の目安を設け、マニュアルを作成した。

- ・ 都立図書館に対し、相互貸借貸出冊数上限の引き上げを依頼する準備を整えた。

東京都市町村立図書館長協議会協力担当者会にて、現在1アカウントあたり50冊となっている上限を引き上げるよう、都立図書館に要望することでまとまった。

- ・ 相互貸借資料の汚破損状況の連絡を簡略化した。

これまで主に電話と文書によって通知していた汚破損状況の連絡について、文書の送付のみ、またはFAXで利用できるひな型を作成した。作成したひな型を東京都市町村立図書館長協議会協力担当者会で活用方法について検討し、各区市町村で使用することとなった。

- ・ 未所蔵資料のリクエストや借用に関する作業のマニュアルを作成した。

令和4年(2022年)12月に発生したランサムウェア感染事故により、これまでのマニュアルのデータが利用できなくなった。紙媒体で残っていたマニュアルをベースに、例や図、フローチャートなどをまじえながら、より幅広く分かりやすいマニュアルを作成し直した。作成したマニュアルは、庁内掲示板(図書館掲示板)にて全館に周知した。

■ インターネット環境の充実

- ・ オンラインデータベースの利用促進

- ・ 新規利用登録時の案内や図書館報「ひろば」などでPRした。

- ・ セキュリティに関する取り組み

- ・ 定期的に利用者用インターネット端末のアップデートの実施を実施した。

- ・ 職員全員がリスク事例を共有できるよう、注意喚起を行った。

- ・ 令和4年(2022年)12月に発生したランサムウェア感染事故の際には、あらかじめ決められた手順通りに情報管理者である図書館長と情報政策課に状況を連絡・報告したほか、復旧までの期間、セキュリティリスクの高いインターネット端末を利用するサービスを休止するなどの措置を速やかにとった。

(4) 読書案内・レファレンスサービスの充実

■ 読書案内・レファレンスサービスのPR

- ・ 図書館報「ひろば」令和5年3月号に掲載された「レファレンス室だより」第19回で、オンラインデータベースについて取り上げ、具体的な事例とともに紹介した。

- ・ レファレンス室で毎月テーマを変えて地域資料のミニ展示を行い、約3割の資料が貸し出された。

■ レファレンス資料の充実

- ・ 継続して、新聞の地方版(多摩版・東京版)を収録したマイクロフィルムを購入した。

令和3年1月～令和3年12月分までの朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞の各紙
令和2年1月～令和2年12月の東京新聞

- ・ 辞書、辞典、地図等のレファレンス資料を202点購入し、受け入れた。5年おきに入れ替えをしている東京23区の住宅地図を購入した。また、版が古くなっていたJISハンドブックを23冊買い替えた。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 資料費の維持・確保。
- ・ 日野市立図書館資料選定基準、日野市立図書館資料除籍・保存基準の見直し。
- ・ オンラインデータベースの利用拡大。
- ・ 電子書籍の導入検討。
- ・ 令和5年度に予定していたシステム更改が令和6年度へ延期となったことに伴う強化案の再検討。
- ・ レファレンスサービスの充実。

【改善策】

- ・ 「日野市立図書館資料選定基準」、「日野市立図書館資料除籍・保存基準」に基づいて引き続き蔵書の充実・適正保存に取り組む。
- ・ オンラインデータベースについて図書館のホームページ等で紹介しPRする。
- ・ 電子書籍について、令和6年度予定のシステム更改に合わせた導入を想定し、予算、業務の継続性について検討する。
- ・ 市民がレファレンスサービスを身近に感じ、利用してみようと思えるような取り組みとして、地域資料に限らないレファレンス事例、テーマ資料リストのホームページでの紹介を検討する。

事業の項目	6 サービスを提供する基盤を整備します
事業の概要	
<p>(1) 施設の保持・保全</p> <p>(2) ICT化の推進</p> <p>(3) 職員の育成</p> <p>(4) 市民とともにすすめる図書館運営の推進</p>	
事業の成果	
<p>(1) 施設の保持・保全</p> <p>■ 各館の施設・設備の老朽化に対応するため、令和4年度は以下の修繕を行った。</p> <p>【中央図書館】 浄化槽ブロワ修繕／漏電点検・修繕／電話線断線修繕／昇降機部品交換修繕／給気・排気ファン修繕</p> <p>【高幡図書館】 漏電修繕／防火扉歪み調整修繕</p> <p>【日野図書館】 1階男子トイレウォシュレット等修繕</p> <p>【平山図書館】 空調機修繕／駐車場区画ロープ張替及び窪地修繕／1階女子トイレ目隠し修繕</p> <p>【百草図書館】 照明修繕／排水詰まり修繕</p> <p>なお、中央図書館給気・排気ファン修繕は、一般会計予備費から流用を行って修繕を実施した。</p> <p>■ 産業振興課の小規模修繕の制度を活用して、以下の修繕も行った。</p> <p>【高幡図書館】 樹木伐採／スチール扉修繕／自動火災報知設備等修繕／2階手洗い修繕／2階読書会室照明設備修繕／1階照明設備修繕</p> <p>※ 小規模修繕は、産業振興課が日野市商工会に委託して公共施設の修繕を行うもの。おおむね50万円以下の修繕を委託して行う。</p> <p>■ 令和5年度予算編成時に、計9か所の修繕予算を要求し、以下4か所の修繕の予算を獲得できた。</p> <p>中央図書館排煙窓修繕／高幡図書館防水修繕／日野図書館漏水修繕／平山季重ふれあい館非常用照明器具交換</p>	

(2) ICT化の推進

令和5年度に予定していた図書貸出管理システムの更新に向けて、9月に予算要求を行うとともに、プロポーザルによる選定に向けて仕様調整や内部説明の準備を進めていた。しかしながら実施内容について、DXに関する事項の再検討を求められたことをうけ、令和5年度の予算化を見送り、システム更新を令和6年度に実施する想定で現行契約を延長した。

(3) 職員の育成

■ 令和4年度館内研修を下記の内容で実施した。

テーマ「こんな質問どう答える？ 日野のあれこれを学ぼう！」

講師 ふるさと文化財課職員（学芸員）

日時 令和5年（2023年）2月27日（月）15～17時

参加人数 25名

内容 新選組・中世の平山季重など日野にゆかりの人物や最近の市内の遺跡についての説明、また、役に立つ資料の紹介など

知識豊富な学芸員の講義はとても勉強になっただけでなく、つながりもできたのでこれからの協力体制も強めることが出来た。

■ 以下の外部研修を受講した。

- ・ 児童図書館専門研修 (1) (都立多摩図書館 6～7月の3日間 1名)
- ・ 児童図書館専門研修 (2) (都立中央図書館 2月22日 2名)
- ・ 多摩地区図書館サービス研究会「レファレンス研修初級」
(東大和市立中央図書館 10月20日 1名)
- ・ 著作権研修 (文化庁 10月20日、21日 1名)
- ・ 多摩地区図書館児童サービス研究会「子どものための伝承文化」
(羽村市生涯学習センターゆとろぎ 3月16日 1名)
- ・ 東京都市町村立図書館長協議会研修会「北欧の公共図書館」
(福生市さくら会館 2月9日 1名)

(4) 市民とともにすすめる図書館運営の推進

■ 図書館運営の点検・評価

図書館運営状況について、図書館協議会での報告評価を経て、9月に教育委員会に報告し、図書館ホームページで公表した。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 施設老朽化への対応。
- ・ 司書としての専門性を高めるための職員育成。
- ・ 市民の視点を加えた図書館運営。

【改善策】

- ・ 中央図書館及び各地域館の修繕を要する箇所を整理し、優先度の高いものから修繕を行う。
- ・ 次期システムの検討に際しては、日野市DX推進計画、第4次日野市立図書館基本計画に基づき、以下を主な課題として進める。
 - ① システムの方向性の明確化（「日野市立図書館のあり方」検討に併せて）。
 - ② 教育委員会の関連部署とも連携した意見収集。
 - ③ 予算の見える化（実施内容と科目との関連性の見える化）。
- ・ 研修について、職員アンケートの希望に沿った内容で行う。
- ・ 運営評価については、以下の通り進める。
 - ① 基本計画のシートに基づき、運営の状況に関する評価書を作成する。
 - ② 作成した評価書を図書館協議会に報告し、意見を求める。
 - ③ 教育委員会に報告、その後図書館ホームページで公開する。

過去5年間の統計数値

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
蔵書数 (図書)	合計	823,818	835,633	843,715	846,872	844,476
	一般書	647,105	654,396	659,116	661,667	656,212
	児童書	176,713	181,237	184,599	185,205	188,264
受入数 (図書)	合計	38,622	34,562	34,694	33,380	30,478
	一般書	27,529	24,701	25,063	24,109	22,032
	児童書	11,093	9,861	9,631	9,271	8,446
除籍数 (図書)	合計	34,810	22,747	26,612	30,223	32,894
	一般書	27,741	17,410	20,343	21,558	27,487
	児童書	7,069	5,337	6,269	8,665	5,407
視聴覚資料 保有数	6,049	4,898	4,998	5,102	5,074	5,262
購入雑誌 タイトル数	501	501	507	507	504	494
利用登録者	合計	36,622	36,028	35,166	28,341	30,146
	成人	31,165	30,814	30,176	24,901	26,113
	児童 (15歳以下)	5,457	5,214	4,990	3,440	4,033
利用登録率	合計	19.82%	19.42%	18.83%	15.15%	16.12%
	成人	19.58%	19.23%	18.64%	15.36%	16.06%
	児童 (15歳以下)	21.42%	20.75%	19.83%	13.82%	16.30%
開館日数	合計	1,623,059	1,625,131	1,574,761	1,342,530	1,477,776
	一日あたり貸出数	5,169	5,192	5,031	5,066	4,959
	一般書(雑誌含む)	1,084,746	1,080,573	1,053,461	895,405	952,744
個人貸出数	児童書(雑誌含む)	522,893	529,694	507,295	436,372	515,078
	視聴覚資料	15,420	14,864	14,005	10,753	9,954
	団体数	51	52	53	54(*1)	53(*2)
移動図書館による 団体貸出(雑誌・ CD含む)	貸出冊数	21,671	23,248	23,200	21,246	16,099
	受付件数	462,572	486,295	503,493	493,964	543,902
	所蔵資料提供	453,626	476,835	493,968	486,207	535,455
予約受付 (雑誌・CD含む)	借用資料提供	8,946	9,460	9,525	7,757	8,447
	件数	3,549	3,776	3,349	2,755	2,403
レファレンス						不明

※1 定期巡回の団体数は53 ※2 定期巡回の団体数は52

表中「不明」となっている項目は、ランサムウェア感染の影響のため

過去5年間の統計数値

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合計	461,616	459,786	440,254	359,640	413,189	419,919
延べ利用者数						
一日あたり利用者数	1,470	1,464	1,402	1,357	1,387	1,346
中央	75,886	77,033	68,421	57,750	69,259	68,773
高幡	92,618	90,116	87,029	72,042	79,526	79,694
日野	66,172	63,356	60,093	47,935	59,078	59,691
多摩平	137,839	138,305	135,134	107,372	122,052	126,059
平山	45,494	46,009	45,681	36,732	41,605	44,017
市政	5,174	5,399	4,815	4,205	4,820	4,933
百草	34,766	35,238	34,970	29,124	32,204	32,581
移動	3,667	4,330	4,111	4,480	4,645	4,171
合計	1,084,746	1,080,573	1,053,461	895,405	952,744	955,564
館別個人貸出数 (一般図書)						
中央	194,265	195,571	181,691	158,386	169,517	164,649
高幡	213,170	207,602	201,619	175,007	185,510	183,468
日野	152,372	150,813	149,313	123,802	133,541	134,371
多摩平	317,953	317,657	314,285	258,659	272,938	278,014
平山	104,705	104,225	104,953	87,910	93,858	98,233
市政	11,729	12,264	10,811	10,037	11,034	11,024
百草	77,957	77,698	76,516	67,562	71,347	71,189
移動	12,595	14,743	14,273	14,042	14,999	14,616
合計	522,893	529,694	507,295	436,372	515,078	500,625
館別個人貸出数 (児童図書)						
中央	97,487	104,381	93,605	80,332	97,132	93,293
高幡	86,914	82,889	78,068	68,605	78,435	74,694
日野	90,085	86,975	90,300	72,457	85,120	82,580
多摩平	170,481	168,490	159,724	142,779	170,284	166,883
平山	34,757	39,901	38,247	33,167	38,702	39,280
市政	2,703	2,782	1,856	1,770	2,212	1,895
百草	31,785	33,844	35,603	26,670	33,259	32,371
移動	8,681	10,432	9,892	10,592	9,934	9,629

奉仕実績

(1) 蔵書状況(蔵書数)

① 図書

区分	蔵書数(冊)	年間受入(冊)	年間除籍(冊)
一般図書	648,217	20,865	28,860
児童図書	186,903	8,525	9,886
計	835,120	29,390	38,746

② CD・ビデオ等

資料名	保有数
CD	4,621
カセットテープ	42
DVD	269
ビデオソフト	308
レコード等	22
計	5,262

③ 雑誌・新聞

	購読新聞	雑誌		
		購入	寄贈	合計
中央図書館	31	199	18	217
高幡図書館	25	117	5	122
日野図書館	20	90	2	92
多摩平図書館	17	165	4	169
平山図書館	19	80	4	84
市政図書室	30	63	40	103
百草図書館	24	102	2	104
移動図書館	0	42	0	42

※購読新聞は、購入、寄贈の合算

(2) 利用者数・貸出点数

① 利用登録者数

成人(人)	児童(人)	登録者総数(人)	登録率(%)
26,767	3,863	30,630	16.36

※登録者数:年度内に貸出した人数

登録率:登録者数を令和5年4月1日の人口187,180人で除して算出

(統計資料)

② 延べ利用者数、開館日数

館名	延べ利用者(人)	開館日数(日)
中央図書館	68,773	311
高幡図書館	79,694	311
日野図書館	59,691	311
多摩平図書館	126,059	311
平山図書館	44,017	311
市政図書室	4,933	293
百草図書館	32,581	311
移動図書館	4,171	—
計	419,919	—

③ 個人貸出点数

区分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	164,649	93,293	482	258,424
高幡図書館	183,468	74,694	483	258,645
日野図書館	134,371	82,580	223	217,174
多摩平図書館	278,014	166,883	4,990	449,887
平山図書館	98,233	39,280	384	137,897
市政図書室	11,024	1,895	37	12,956
百草図書館	71,189	32,371	2,437	105,997
移動図書館	14,616	9,629	163	24,408
計	955,564	500,625	9,199	1,465,388

④ 移動図書館・駐車場別貸出点数

駐車場名	貸出点数	駐車場名	貸出点数	駐車場名	貸出点数
シティハイツ日野旭が丘	4,552	新井わかたけ公園	642	貉谷戸公園	782
西平山第一公園	1,073	さいかちぜき公園	850	万願寺中央公園	988
緑ヶ丘公園	704	大坂西公園	※51	ちょうまんぴら公園	673
市営向川原団地	930	新坂下公園	376	七ツ塚公園	766
百草団地アポロ広場	953	都営日野栄町二丁目アパート	75	旭が丘地区センター	3,802
水車公園	1,579	松風公園	784	※イベント等による個人貸出 60	
ほほえみ公園	538	南平丘陵公園	705		
石田環境プラザ	2,691	万願寺渡西公園	834	貸出総冊数	24,408

駐車場数	21カ所	延べ巡回回数	418回	一駐車場平均貸出冊数	1,159.4冊
年間利用者数	4,164人	一駐車場平均巡回回数	19.9回	一駐車場一巡回当たり	
貸出冊数	24,348冊	平均利用者数	9.9人	平均貸出冊数	58.2冊

※大坂西公園は公園内工事のため通常巡回は休止。上記は8月工事休止中の臨時巡回時の実績

(統計資料)

⑤ 団体貸出点数

区 分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	298	1,691	0	1,989
高幡図書館	95	1,351	2	1,448
日野図書館	65	1,296	0	1,361
多摩平図書館	569	3,270	1	3,840
平山図書館	0	122	0	122
市政図書室	0	0	0	0
百草図書館	131	1,292	2	1,425
移動図書館	1,554	14,439	0	15,993
計	2,712	23,461	5	26,178

※移動図書館は延べ114回巡回。(定期利用団体53団体、その他団体が利用)

⑥ 図書館連携事業

日野市民の他市図書館利用	市名	新規登録者	貸出冊数
	八王子市	111	10,062
	府中市	64	2,971
	調布市	38	1,710
	町田市	3	87
	多摩市	196	27,921
	稲城市	28	3,318
	立川市	282	8,592
	国立市	24	252
	合計	746	54,913
他市市民の日野市立図書館利用	市名	新規登録者	貸出冊数
	八王子市	406	48,172
	府中市	32	1,358
	調布市	5	69
	町田市	11	816
	多摩市	33	4,875
	稲城市	3	294
	立川市	4	97
	国立市	27	512
合計	521	56,193	

(統計資料)

(3) リクエストサービス(処理件数)

	図書			雑誌			視聴覚	合計
	所蔵	借用	小計	所蔵	借用	小計		
中央図書館	11,376	965	12,341	1,334	87	1,421	140	13,902
高幡図書館	13,579	1,473	15,052	645	123	768	15	15,835
日野図書館	7,344	682	8,026	692	49	741	28	8,795
多摩平図書館	15,723	1,869	17,592	592	181	773	70	18,435
平山図書館	6,463	738	7,201	819	27	846	47	8,094
市政図書室	694	123	817	5	12	17	1	835
百草図書館	5,707	761	6,468	227	26	253	88	6,809
移動図書館	630	57	687	29	0	29	0	716
OPAC全館	21,341		21,341	1,952		1,952	104	23,397
WEB(※1)	404,396		404,396	31,222		31,222	2,241	437,859
合計	487,253	6,668	493,921	37,517	505	38,022	2,734	534,677
上記受付数中、 電子申請(※2)による 受付数			2,794					2,794

※1 図書館のホームページを使ったリクエスト

※2 東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った電子申請によるリクエスト

(4) 参考調査

① レファレンスサービス(文献調査)

区分	日野市 関係	多摩・東京 関係	地方行政 関係	一般 主題	計
中央図書館	215	144	0	410	769
高幡図書館	30	7	0	219	256
日野図書館	7	0	0	24	31
多摩平図書館	25	7	0	264	296
平山図書館	26	5	0	187	218
市政図書室	309	27	29	80	445
百草図書館	29	10	0	192	231
計	641	200	29	1,376	2,246

※ランサムウェア感染の影響のため、日野図書館は令和5年1月5日から3月31日で集計。

(統計資料)

② コピーサービス

館名	カラー枚数(枚)	白黒枚数(枚)	調定済金額(円)
中央図書館	1,275	15,190	202,900
高幡図書館	672	20,344	230,320
日野図書館	347	6,836	82,240
多摩平図書館	877	9,515	130,230
平山図書館	882	14,666	181,940
市政図書室	146	7,192	77,760
百草図書館	242	8,082	90,500
計	4,441	81,825	995,890

(5) 児童・青少年サービス

① おはなし会

(定例おはなし会)

会場	開催日	回数	参加人数				
			0才～	3才～	小学生	小計	大人
中央図書館	毎月第4木曜日	4	12			12	12
	毎月第2水曜日	3		4	3	7	3
高幡図書館	毎月第1水曜日	3	28	11	14	53	35
日野図書館	毎月第3水曜日	4		11		11	7
多摩平図書館	毎月第2木曜日	4	25			25	23
	毎月第4水曜日	3		13	6	19	12
平山図書館	毎月第3木曜日	3	7			7	5
百草図書館	毎月第3金曜日	4	15	18	12	45	22

※おはなし会の開始時間

0～2歳児 午前10時30分～(中央、多摩平、平山)、午後3時～(高幡、百草)

3歳～ 午後3時30分～(中央、高幡、日野、多摩平、百草)

小学生以上 午後4時～(中央、高幡、多摩平、百草)

※ランサムウェア感染の影響のため、データは令和4年12月17日から令和5年3月31日で集計。

(出張おはなし会)

訪問先	合計回数
子ども家庭支援センター多摩平「子育てひろば」	17回
子ども家庭支援センター「子育てサークル交流会」	
たまだいら児童館「ふれっしゅ」	
子育てひろば平山「ぼっかぽか」(平山季重ふれあい館内)	
子育てカフェ「モグモグ」	

② 「たかはたブッククラブ」

小学生対象、予約定員制。職員による本の紹介や図書館探検など子どもと本とを結びつける事業

開催月日	会場	参加者数(人)
5～3月(8月、12月を除く 第1水曜日)	高幡図書館	全9回 35名の小学生が参加

③ 「子ども読書の日」関連事業(おはなしピクニック)

行 事 内 容	備考
イベント 「とよかんおはなしピクニック 2022」	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。 全館で「どんな本が好き？」 リストと本の展示を行った

④ 保護者向け本の紹介

行 事 内 容	備考
学校等で読み聞かせをする予定のある保護者に季節にあった本や新刊書を紹介	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

⑤ 読み聞かせ入門講座

行 事 内 容	備考
集団に対する読み聞かせの仕方、本の選び方、参考図書の紹介、実習	5月20日(金)、多摩平の森ふれあい館集会室6、 6月24日(金)高幡図書館おはなし会室、計20名参加

⑥ 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の3年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本の読み聞かせ・昔話の語り等を行っている。(15校)

月・日	学校名	月・日	学校名
4月27日(水)	日野第一小学校	4月28日(木)	日野第七小学校
5月12日(木)	滝合小学校	5月19日(木)	旭が丘小学校
6月2日(木)	東光寺小学校	6月10日(金)	七生緑小学校
6月17日(金)	夢が丘小学校 豊田小学校	6月24日(金)	日野第六小学校
2月21日(火)	日野第三小学校	2月24日(金)	仲田小学校
3月3日(金)	潤徳小学校	3月15日(水)	日野第四小学校 (2年生)
3月17日(金)	南平小学校 日野第五小学校		

⑦ 学校へ貸出・搬送(学校搬送便)

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

搬送回数(のべ)	貸出冊数
のべ 113 回	4,213 冊

⑧ 「本の森」学級文庫配本

子ども読書推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

回数	貸出冊数
のべ51回	18,024冊

⑨ 中学生の職場体験学習

行事名	備 考		
職場体験	中央図書館	4 校	21 人
	高幡図書館	1 校	2 人
	日野図書館	2 校	7 人
	多摩平図書館	3 校	8 人

⑩ 夏休みジュニアスタッフ(小学校 5 年生・6 年生・中学生)

行事名	備 考			
夏休みジュニア スタッフ	中央図書館	2 人	高幡図書館	2 人
	日野図書館	2 人	多摩平図書館	2 人
	平山図書館	2 人	百草図書館	1 人

⑪ 来館(施設見学、ボランティア活動、おはなし会、等)

行事名	開催日	実施館	
小・中学校	随時	中央、高幡、日野、 多摩平、平山、百草	14 校
その他の団体	随時	中央、多摩平	3 団体

⑫ 市立幼稚園・保育園等への配本

幼稚園・保育園に対し、年齢に見合った図書を選定・配本し、読書活動の推進を図っている。

のべ配回数	配本冊数
のべ 44 回	2,340 冊

⑬ 健康課主催ママパピクラスにて図書館案内と関連図書紹介

新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。代替として図書館ホームページに「これからお子さんを迎える方へ」というタイトルのページを設置し、ママパピクラスで紹介している。このページは健康課のママパピクラスのホームページと相互リンクしている。

⑭ ボランティア懇談会

市内で活動する子どもの本に関わる団体相互と図書館とが情報交換を行うが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため開催せず。

⑮ 青少年読書活動事業「日野ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。

公募により、市内在住・在学の大学生・高校生が参加。

行 事 名	開催月日	備考
市内大学連携事業 「実践女子大学常磐祭」展示	11月12日(土)～ 11月13日(日)	コロナの影響で、常磐祭の対面形式での企画が中止となったため、テーマ展示のみで常磐祭に参加した。(テーマ「旅行」)
市内大学連携事業 「実践女子大学常磐祭」ビブリオバトル	-	コロナの影響で、常磐祭は大学関係者のみの開催となったため、ヤングスタッフの参加は中止となった。
中学校ブックパレード	3月8日(水)	大坂上中学校図書委員会に向けて開催し、ヤングスタッフ2名がおすすめの本を紹介した。(生徒31名、先生2名参加)
ビブリオバトル	12月4日(日)	閉館後の高幡図書館で開催した。発表者7名(うちヤングスタッフ4名、一般参加3名)、観戦者15名が参加した。

⑯ 中学生と作家の交流事業

中学生が本に親しみ、自ら読書の楽しさを発信する活動を支援。

開催日	会 場	講 師	参加者(人)
11月6日(日)	平山季李重 ふれあい館 (大ホール)	汐見夏衛氏	来場参加者:44人 オンライン参加者:18名

(6) 障害者サービス

① 利用者、音訳点訳登録者、点字図書、拡大写本、対面朗読数

利用者数		音訳者	点訳者	点字図書			拡大写本		対面朗読		
個人	団体			作成枚数	貸出		作成枚数	貸出タイトル数	件数	のべ時間	のべ音訳者数
					タイトル数	巻数					
243	15	30	15	不明	不明	不明	不明	不明	115	224	208

※ランサムウェア感染の影響のため不明

② 録音図書の作成・貸出数

作成						貸出					
テープ図書		DAISY 図書		合計		テープ図書		DAISY 図書		合計	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明

※ランサムウェア感染の影響のため不明

③ 相互貸借の貸出・借入数

貸出						借入					
テープ図書		DAISY 図書		点字図書		テープ図書		DAISY 図書		点字図書	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明

※ランサムウェア感染の影響のため不明

④ 宅配による貸出数

利用者数	回数	貸出図書冊数
不明	不明	不明

※ランサムウェア感染の影響のため不明

⑤ 講習会開催数

講習名	講師	開催回数	開催場所	受講者(人)
音訳者講習会(中級)	成毛 由紀子氏	2回	多摩平の森ふれあい館	27

⑥ 出張点字授業

点字や視覚障害者の理解を深めるため、市内小学校4年生を訪問している。

訪問日	学校名	クラス数
10月14日(金)	東光寺小学校	2
11月10日(木)	旭が丘小学校	2
11月15日(火)	夢が丘小学校	2
1月17日(火)、19日(木)	潤徳小学校	4
1月31日(火)	七生緑小学校	2
3月1日(水)	豊田小学校	3
計	6校	15

(統計資料)

(7) 刊行資料

資料名(1回当りの発行部数)	発行回(回)	発行部数
館報「ひろば」	12	15,000
新聞記事速報(1回あたり230部)	238	55,660
資料の広場(1回あたり90部)	8	720

(8) 視聴覚ライブラリー

① 視聴覚機材、16ミリフィルム保有数及び貸出数

資料・機材名	保有数	貸出数
16ミリ映写機	1	0
8ミリ映写機	1	0
スライド映写機	1	0
スクリーン	8	0
暗幕	19	17
16ミリフィルム	60	0

② 16ミリ映写機検定

項目	開催日	検定台数	会場
16ミリ映写機検定	9月5日(月)	4台	中央図書館

(9) インターネットサービス

- ① ホームページアクセス件数 730,809件
- ② パスワード発行数 2,295件
- ③ メールアドレス登録者数 (累計)22,644人
- ④ インターネット検索パソコン利用回数

インターネットの情報を図書館でも検索できるように、各館にインターネット端末を設置している。

中央	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
407	363	434	894	269	73	341	2,781

⑤ 持込 PC 用電源利用受付数

中央	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
129	136	30	88	78	-	10	471

※ランサムウェア感染の影響のため、データは令和4年12月17日から

令和5年3月31日まで

(10) テーマ展示

本との出会いを生む取組として、テーマごとに蔵書の紹介をしている。

① 中央図書館

	テーマ
4月	【SDGs】
5月	自然とふれあおう
6月	フレイル予防
7月	環境プラスチックごみの減量
8月	【平和】戦火が変える、人々の暮らし
9月	逃げ出したくなったら
10月	【自殺対策】、芸術の秋・イラストに挑戦
11月	【児童虐待防止】
12月	全ての人に本を
1月	書評に載った本(2022年9月～11月)
2月	あま～い(!?)本
3月	自殺予防強化月間

② 高幡図書館

	テーマ
4月	蟹江杏さん(日野市出身)作品展示
5月	気ままに散歩
6月	年を重ね、より美しく
7月	冒険の夏 探検の夏
8月	【平和】平和って何だろう?
9月	【認知症】認知症を知る月間
10月	【SDGs】SDGs(持続可能な開発目標)とは?
11月	図って測って量ってみたら
12月	玉南鉄道(現:京王線)と高幡門前町
1月	和の世界
2月	【環境】今までとこれから
3月	【自殺対策】ひとりで悩まないで

③ 日野図書館

	テーマ
4月	はじまりの詩
5月	自転車に乗って/日野市関係者による新選組関係資料の展示
6月	追悼 矢島稔 虫の世界に生きて
7月	【SDGs】フィンランド
8月	【平和】あこのろの多摩は…
9月	【認知症】認知症についてご理解を
10月	【環境】いきものの姿

	テーマ
11月	踊りの世界と世界のおどり
12月	時を旅する
1月	こころとからだ
2月	庭園
3月	人形に魅せられて…

④ 多摩平図書館

	テーマ
4月	「お手紙」
5月	「身近なことから始める エコ」／蟹江杏さん著作展示
6月	「食育202206」
7月	「いろいろな石」／自分らしい暮らしを続けたい
8月	【平和】「戦争の記憶、平和への願い」／PlanTビジコン展示
9月	「散歩のすすめ」／ヤングスタッフミニ展示「日記」
10月	「図書館」／まちゼミ2022
11月	「子育て支援・児童虐待防止」／まちゼミ2022
12月	「日野市」／クリスマス・お正月ミニ展示
1月	「笑う門には福来る」／【SDGs】「陸の豊かさを守ろう」／ヤングスタッフナイト展示「夜」
2月	「SWEETS」
3月	「酷道！国道！」

⑤ 平山図書館

	テーマ
4月	自然に親しむ
5月	日本人作家のデビュー作品、[小特集] OKINAWA復帰50年、[追悼] 元多摩動物園長 矢島稔氏
6月	【SDGs】、[小特集] 神戸連続児童殺傷事件から25年、[小特集] 投票に行く前に「選挙」
7月	家族も作家、[小特集] ムラサキシキブ、[緊急小特集] 政治とテロリズム
8月	【平和】考えよう！平和、[小特集] シゴの世界はあーる、[小特集] 特定の、ってワケじゃないんですよ、[追悼] 近藤誠氏
9月	作家の名前がつく文学賞受賞作品、[小特集] 9月は防災月間、[小特集] 9月は認知症を知る月間、[追悼] 歴史作家 神坂次郎氏、劇作家 宮沢章夫氏
10月	【子育て支援】、[小特集] 元気なおばあさんたち
11月	税金とお金、[小特集] 将棋小説とその周辺
12月	【SDGs】ストップ！地球温暖化、[小特集] 覚悟！忠臣蔵、[小特集] 平山図書館的R.I.P.2022、[小特集] 未解決事件
1月	人生相談、[小特集] ぼんやり家康

(統計資料)

	テーマ
2月	100年前/50年前、[小特集]小説のお医者さん、[追悼] 歴史作家 永井路子氏
3月	いのち、[小特集]卒業、旅立ち、[追悼] 小説家 大江健三郎氏

⑥ 百草図書館

	テーマ
4月	おさかな、釣り
5月	人生の「締めくり」を考える
6月	【子育て支援】特にお父さんのための
7月	車・運転
8月	【平和】平和への思い
9月	【SDGs】はじめてのSDGs
10月	秋は魔法のにおい
11月	【児童虐待防止】児童虐待防止0を目指して
12月	おうち時間を楽しもう
1月	エコな暮らし(環境)
2月	百草図書館スタッフからのおすすめ
3月	【自殺防止】ほっとひと息

(11) 日野宿発見隊活動

活動内容	開催月日	会場	参加者数等
日野宿発見隊第102弾 「スタンプラリーin 日野宿2022」	5月7日(土)	日野宿内	475人
日野宿発見隊第103弾「夏休み！親子で調べよう日野用水」	7月23日(土)	新東光寺地区センター前 用水	29人
日野宿発見隊第104弾「八坂の祭り まちかど 写真館inひの」	9月1日(木)～ 30日(金)	八坂神社玉垣ほか	71点
日野宿発見隊第105弾「行灯をつくろう」	12月17日(土)	中央公民館講座室	23人
日野宿発見隊通信第20号発行	3月3日(金)	日野一小、東光寺小、仲田 小学区内自治会配布	500部

※「日野宿発見隊第102弾「スタンプラリーin 日野宿2022」」の「参加者数等」は、スタンプ帳頒布数。

(統計資料)

(12) はじまりの読書会2022

	開催日程	とりあげた作品	会場	講師
第1回	10月20日 (木)	『字のない葉書』／『ごほん』 向田邦子／著	高幡図書館 読書会室	青木 笙子氏
第2回	11月17日 (木)	『地獄変』 芥川龍之介／著		
第3回	12月15日 (木)	『さがしもの』 角田光代／著		
第4回	1月19日 (木)	『愛されすぎた白鳥』 小川洋子／著		
第5回	2月16日 (木)	『檸檬』 梶井基次郎／著		

※参加者数 11人

(13) その他

① リサイクル図書配布

配布先	施設数等	配布数(冊)
児童施設	3	129
小中学校	不明	不明
市他部署	1	8
その他	2	122
イベント	2	1,959
個人		25,102
計		27,320

※小中学校が不明となっているのは、ランサムウェア感染の影響のため

② 実習生(大学生以上)受入

期間	団体・学校名	学年等	目的	人数
8月18日(木)	市内教員	教諭	教員10年研修	2人
8月23日(火)	市内教員	教諭	教員10年研修	1人
9月6日(火) ～14日(水)	近畿大学	科目等履修生	図書館実習	1人
9月16日(金)	市内教員	教諭	教員初任者研修	25人

(参考資料)

日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日制定

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

(参考資料)

図書館協議会委員名簿

《第30期図書館協議会委員》

委員長	田代 守		社会教育の関係者
副委員長	山口 洋		学識経験者
委員	粟沢 稚富美		社会教育の関係者
委員	山口 早苗		学校教育の関係者
委員	阿部 啓介	令和5年3月31日まで	学校教育の関係者
	金川 正樹	令和5年4月1日から	
委員	元木 千恵		家庭教育の向上に資する活動を行うもの
委員	田中 正昭		公募による市民
委員	吉岡 里美		公募による市民
委員	遠藤 直幸		公募による市民

任期 自 令和4年4月15日
至 令和6年4月14日

令和5年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(令和4年度事業)

令和5年9月
日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2
電話 042-586-0584